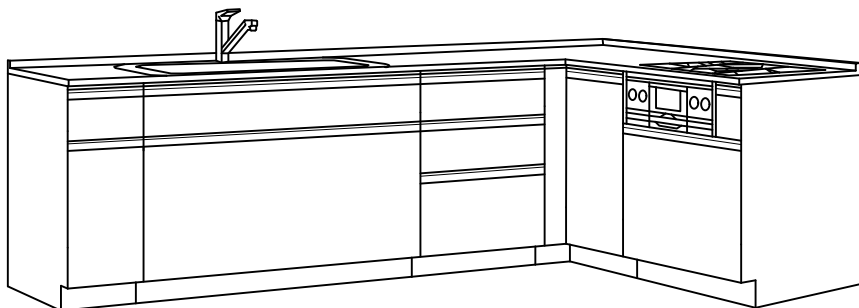
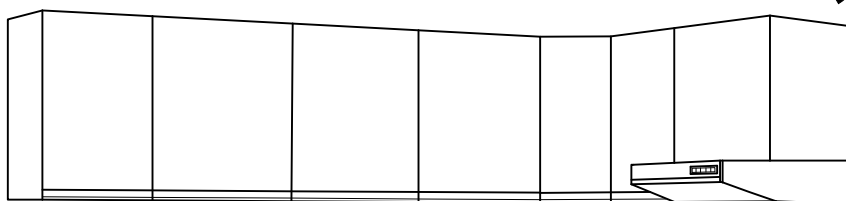


木製システムキッチン 設置説明書



もくじ

1. 設置される方へのお願い	1
2. 安全上のご注意	2
3. 設置前のご確認	3
4. 設置方法	4
1. 吊戸棚・レンジフードの取付	4
2. 側板スペーサーの取付	4
3. 間口調整フィラーの取付	4
4. ベースキャビネットの設置	4
5. 水栓の取付	1 3
6. ワークトップの設置	1 4
7. 排水部品の取付	2 1
8. 加熱器具の設置	2 4
9. 食器洗い乾燥機の設置	2 4
10. 給水・給湯管と水栓の接続工事	2 4
11. 排水管の接続	2 5
12. エンドパネルの取付	2 5
13. 収納部品の取付	2 5
14. 扉の調整	2 6
5. 仕上げ	2 7
6. 安全点検および試運転	2 7
7. お願い事項	2 7

1. 設置される方へのお願い

- ◆キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- ◆本説明書については、ワークトップおよびフロアキャビネットのものです。その他のキャビネットおよびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- ◆設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ◆本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる
危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示
で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を
負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う危険が
想定される場合および物的損害のみ
の発生が想定される」内容です。



このような図記号は、しては
いけない「禁止」の内容です。



このような図記号は、必ず実行
していただく「強制」の内容です。

警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、
必ず保護手袋をしてください。



手袋をしないで切断面に触ると、け
がをするおそれがあります。

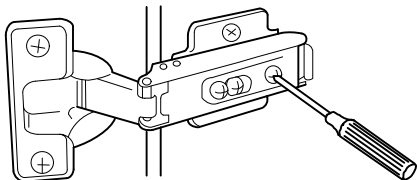
電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規
定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、
火災、ガス漏れ、水漏れの原因に
なることがあります。

注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタつき・丁番の緩みの
ないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下して
けがをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品に
ついては、それぞれの注意表示に従って正しくお使
いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材
の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分の
シールは確実に行ってください。



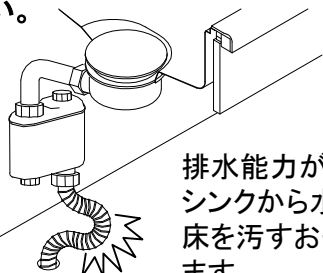
取付けやシールが不十分な場合は、
水が漏れたり湿気が上がり床などが
腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのな
いよう、正しく取付けてください。



取付け方を誤ると、使用中に包丁差
しがはずれてけがをするおそれ
があります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付
けないでください。



排水能力が低下して、
シンクから水があふれ、
床を汚すおそれがあり
ます。

キッチンに組み込まれる電気製品・調理機器・レン
ジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説
明書・製品本体の表示事項を守り、正しく設置して
ください。



設置を誤ると、思わぬ事故や故障
の原因になるおそれがあります。

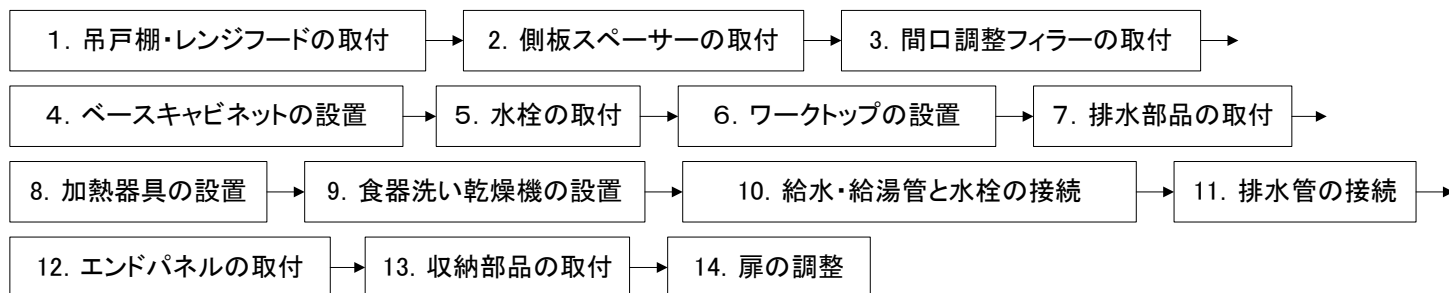
3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- キッチンの取り付け・設置にあたっては、建築の水平、垂直の精度、また設備設計図に基づいた給排水管、ガス配管、電気配線、キャビネット取付用地等の位置と仕様が正しくできていないと安全な取り付け・設置ができません。事前現場確認の結果、不具合が生じた場合は、建築現場管理者に不具合箇所を説明し、修正・手直しの依頼をしてください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- ガス種、電圧（100V、200V）、周波数（50Hz、60Hz）を確認してください。
- 各商品に下記の付属部品および組付用小物セットがあるか確認してください。
- オプション品については、付属の説明書をお読みください。

機種	内容	数量	備考
ワークトップ	小物カゴ（Zシンク・ZSシンク・人大シンクのみ）	1	
	ネジ・金具類	—	
	クッションテープ（人造大理石のみ）（※2）	2	※2: オフェリアは付属なし
	人造大理石トップ接着セット（人造大理石L型のみ）	1	
シンクキャビネット	配管蓋（※3）	1	※3: シンク下食洗タイプのみ
	食洗架台隠し蓋（※3）	1	
	木製システムキッチン設置説明書（本書）	1	
	木製システムキッチン取扱説明書	1	
	吊戸棚設置説明書	1	
	ネジ・金具類	—	
	製品等級表示シート（紙）	1	
食洗下台キャビネット	天板補強板（※4）	1	※4: オフェリアはバリエーション選択にて付属
	ネジ・金具類（※4）	—	
コンロキャビネット コンロ調理キャビネット	コンロ配管蓋	1	
	ネジ・金具類（※5）	—	※5: スライドタイプ・深型タイプのみ
Sトラップセット	排水器具	1	リフィット・グレーシア・オフェリアの場合
	排水エルボ	1	
	S管トラップ	1	
NTトラップセット	排水トラップ	1	リフィット・グレーシアのみオプション
	排水エルボ	1	
直管アダプターセット	台形パッキン	1	直管配管接続の場合
	スリップワッシャ	1	
	袋ナット	1	
ジャバラホースセット	平パッキン	1	ジャバラ配管接続の場合
	ジャバラホース	1	
	排水管アダプター	1	
側板スペーサー	取付棧（10cm板材、両面テープ付）	1	
	横台輪隠し板（448x117mm、ホワイト色）	1	
	L金具	2	
	取付棧	1	
	ネジ	—	
水受けタンク	水受けタンク	1	オプション品
	スリーブ	2	
	丸木ネジ	2	
タンク取付用地材	取付用地材	1	
	トラスタッピンネジ3.5x14	4	
タンク取付棧ZS	タンク取付棧ZS	1	
	ナベ小ネジM3x12	2	

4. 設置方法

※下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。



1. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、別冊の吊戸棚設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

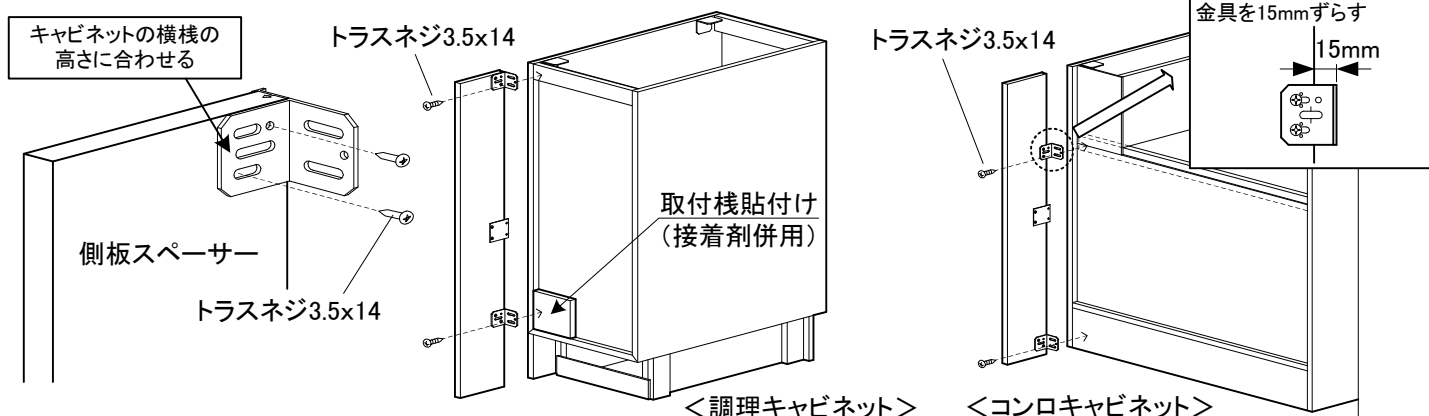
2. 側板スペーサーの取付

側板スペーサーは、別売部品です

コンロキャビネットまたは調理キャビネットがオープン側に設置される配列で、エンドパネルを設置しない場合は、側板スペーサーの取付が必要です。

【1. 側板スペーサーの取付】

- ①キャビネット後面下部に横桎が無い場合は、付属の取付桎を貼付けしてください(接着剤併用)。
- ②側板スペーサーの上下に、L金具をトラスネジ3.5x14で取付けてください。
- ③側板スペーサーを、側板後部に、トラスネジ3.5x14で固定してください。



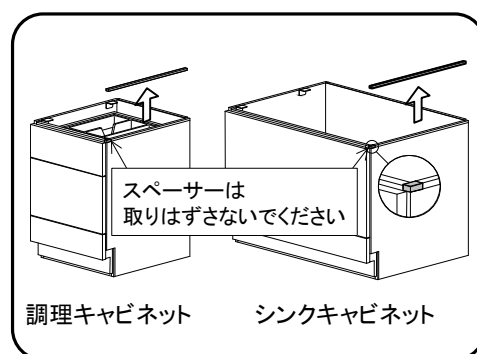
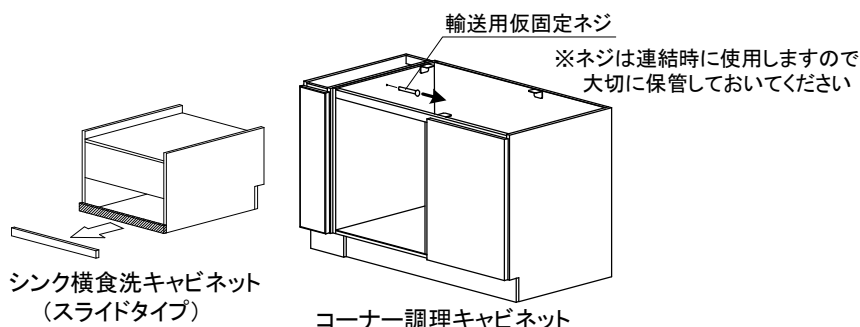
3. 間口調整フィラーの取付

間口調整フィラーの取付は、間口調整フィラー付属の設置説明書にしたがって行ってください。

4. ベースキャビネットの設置

【1. 梱包補助材の取りはずし】

キャビネットには、梱包補助材(輸送時養生用)が取付られている場合があります。梱包からキャビネットを取り出したあとで、まずこれらの梱包補助材を取りはずしてください。コーナー調理キャビネットは、輸送用にキャビネットが連結されています。輸送用仮固定ネジをはずして分離してください。

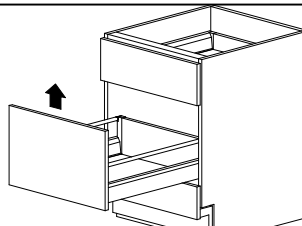
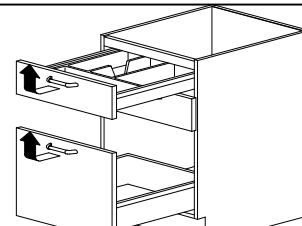


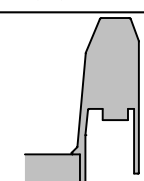
【2. 扉・引出の取りはずし】

扉・引出は、図を参考に取りはずしてください。

●引出の取りはずし方・取付け方

引出種類によりはずし方が異なります。右図を参考にタイプを確認ください。

	(A)タイプ	(B)タイプ
はずし方	 <p>全開位置から持ち上げるように引き上げて、取りはずしてください。</p>	 <p>全開位置から持ち上げるように手前に引出して、取りはずしてください。</p>
取付け方	キャビネット側のレールの上に引き出しを載せて押し込んでください。	取り外しの逆の手順で取り付けてください。

(A)タイプ	(B)タイプ
 <p>引出側板形状</p>	左記以外

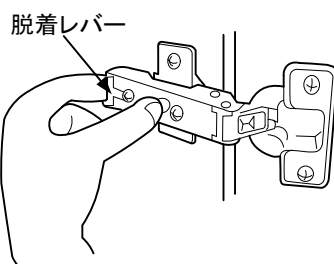
●丁番の取りはずし方・取付け方

はずし方

中央の穴を押さえた状態で、脱着レバーを押上げてください。

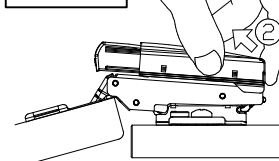
取付け方

丁番プレートの前部のツメに丁番本体を引っ掛け本体部分を押し込むと固定されます。

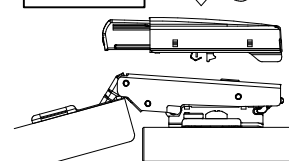


ソフトクローズダンパー付の場合は、下図を参考にダンパーを脱着してください。

はずし方



取付け方

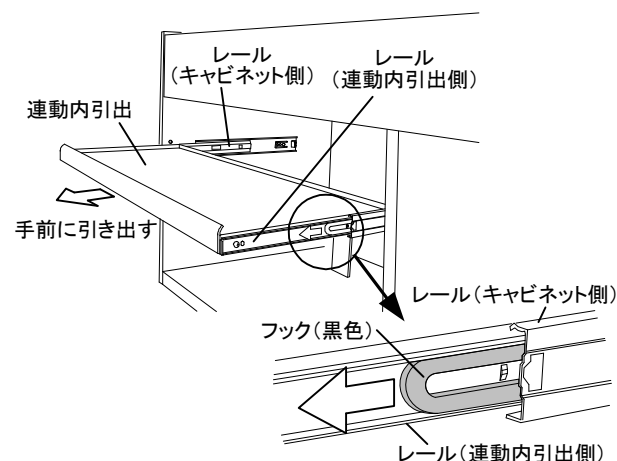


丁番本体の穴にダンパー側の突起をあわせて押し込んでください。

●うちにもホーローレイの取りはずし方・取付け方

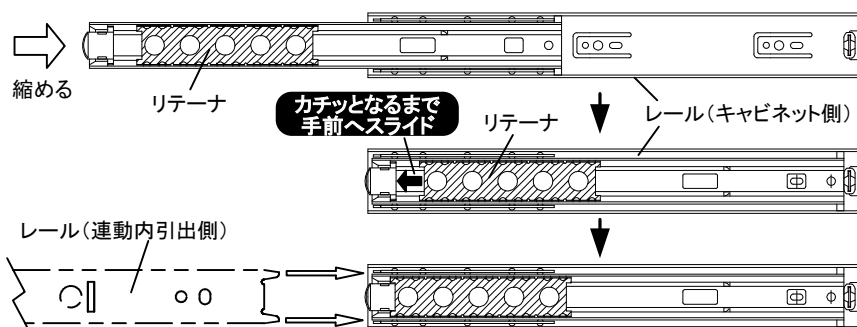
はずし方

- ①先に、スライド扉をはずしてください。
- ②連動内引出を手前方向へ、最後まで引き出してください。
- ③レール脇のフック(黒色)を矢印方向へ引きながら、連動内引出を手前に引き出して、キャビネットからはずしてください。レールを傷めないようにするため、フックは左右同時に引いて、左右のレールを同時に引き出してください。



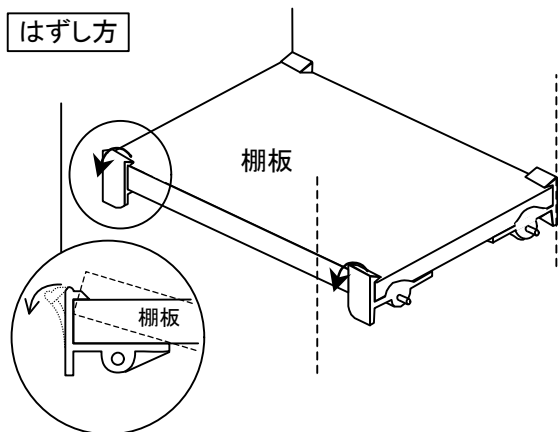
取付け方

- ①図のようにキャビネット側のレールを縮めてください。
- ②図のようにリテーナを手前側に『カチッ』となるまで、スライドさせてください。
- ③連動内引出側のレールをキャビネット側のレールへ差し込んでください。左右同時に奥側まで差し込んでください。

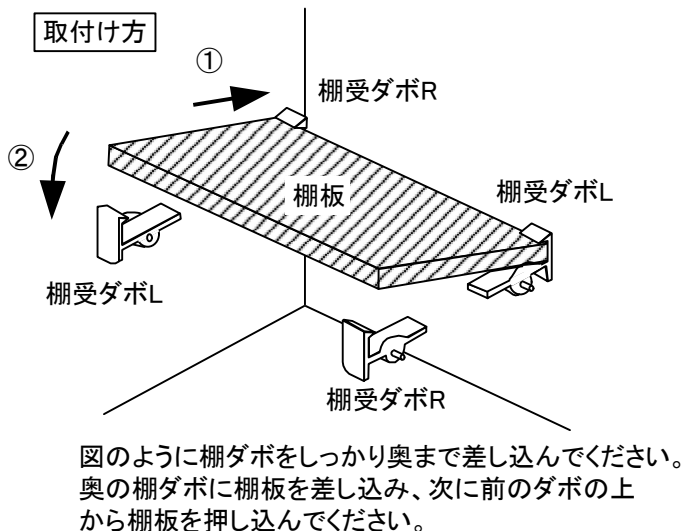


●棚板の取りはずし方・取付け方

調理キャビネットで棚板を備えている場合。下図を参考に取りはずし、取付けを行ってください。



前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじいてください。



図のように棚ダボをしっかりと奥まで差し込んでください。奥の棚ダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。

●FIX扉の取りはずし方・取付け方（シンクキャビネットの場合）

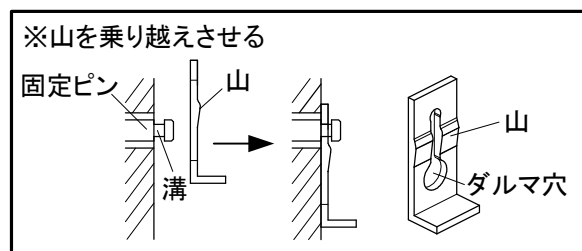
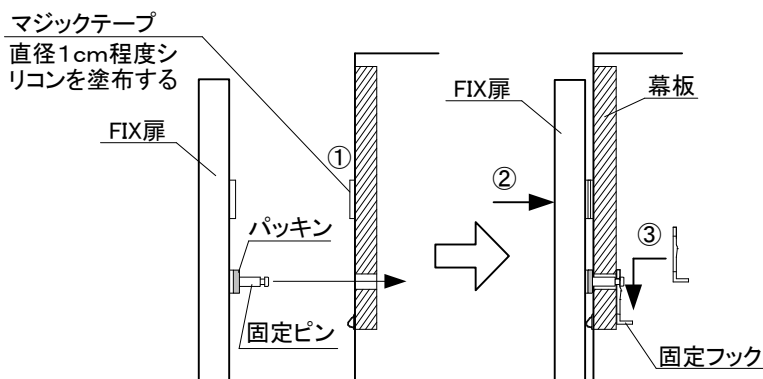
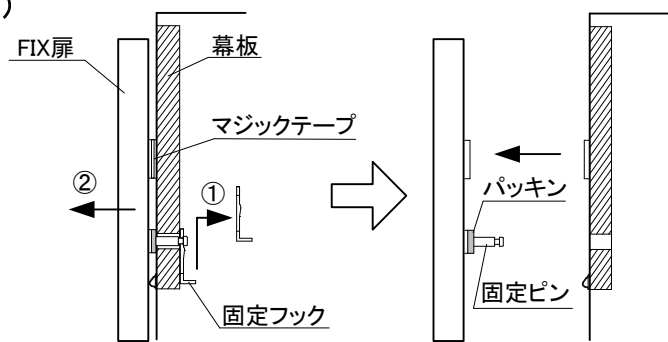
はずし方

- ①シンクキャビネットの幕板裏面に取付けてある固定フックを上へスライドさせて、固定フックを取り外してください。
- ②マジックテープで固定してあるFIX扉を手前に引っぱり、FIX扉を外してください。

注) 固定ピンに取付けてあるパッキンを落とさないよう注意してください。

取付け方

- ①全てのマジックテープに直径1cm程度のシリコンを塗布する。
- ②固定ピンにパッキンを付けて穴にあわせ、左右の扉と位置あわせを行いマジックテープがかみ合うようしっかり押さえ込んでください。
- ③図を参考に、固定フックを固定ピンの溝にはめてFIX扉を固定してください。
※フックの山を乗り越えさせ確実に差し込んでください。



注) 固定フックはダルマ穴になっており、固定ピンが抜けなくなっています。

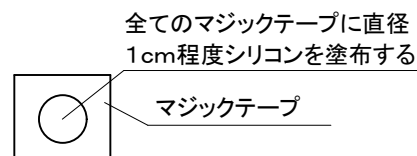
●FIX扉の取りはずし方・取付け方（コンロ横30cmFIX調理の場合）

はずし方

- マジックテープで固定してあるFIX扉を手前に引っぱり、FIX扉を外してください。

取付け方

- 全てのマジックテープに直径1cm程度のシリコンを塗布して、左右上下の位置を合わせて、マジックテープがかみ合うようしっかり押さえ込んでください。

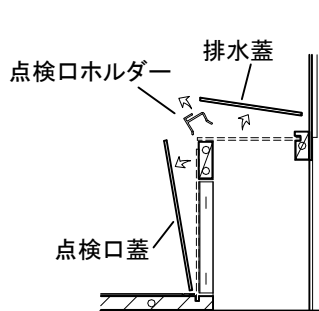
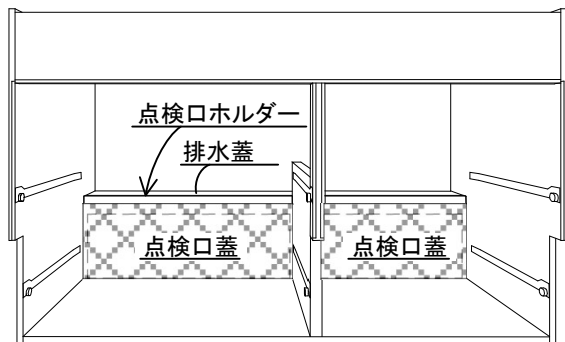


【3. 点検口蓋・排水蓋の取りはずし】

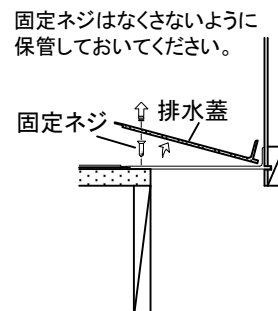
シンクキャビネットの排水蓋を取りはずしてください。

図を参考に、点検口ホルダー又は固定ネジを外せば、取りはずしが可能となります。

シンク下食洗キャビネットの場合、工場出荷状態では、排水蓋は固定ネジ一本で仮止めされています。



【シンク下食洗キャビ以外】



【シンク下食洗キャビ】

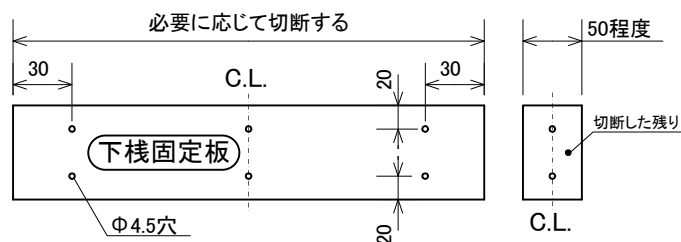
【4. 台輪スペーサーの取付】

ワークトップ高さ90cmの場合には台輪スペーサーの取付が必要です。

～扉タイプ・スライドタイプの場合～

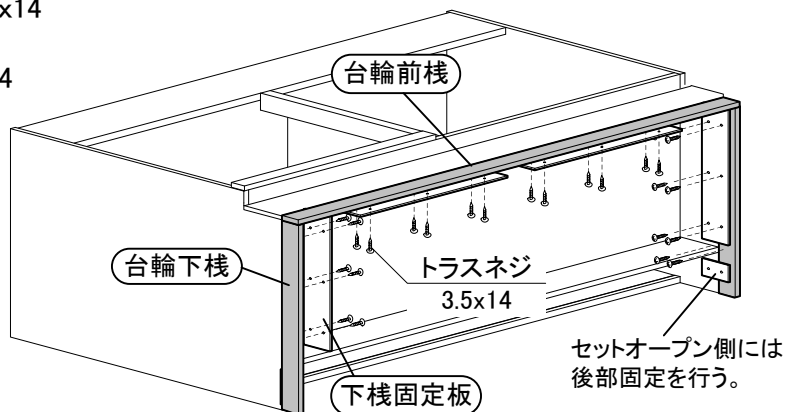
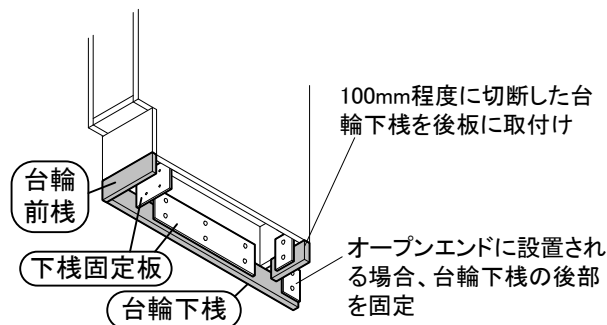
(15cm調理キャビネット、コーナーキャビネットも含む)

- ①下枠固定板を側板内側に収まる長さに切断し、取付穴(φ4)を加工してください。
また、オープン側になるキャビネットや間口15cm調理キャビネットの場合、図のように下枠固定板を50mm程度残しておき、同じように穴加工してください。
- ②キャビネット前下枠下部に台輪前枠をトラスネジ3.5x14で固定してください。
- ③キャビネット側板下部に台輪下枠をトラスネジ3.5x14で固定してください。またオープンになる側には、後部の固定も行ってください。



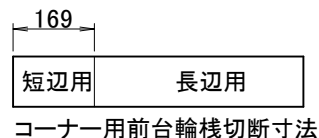
～15cm調理キャビネットの場合～

1本の台輪下枠を100mm程度の長さに切断し、後板用として固定してください。

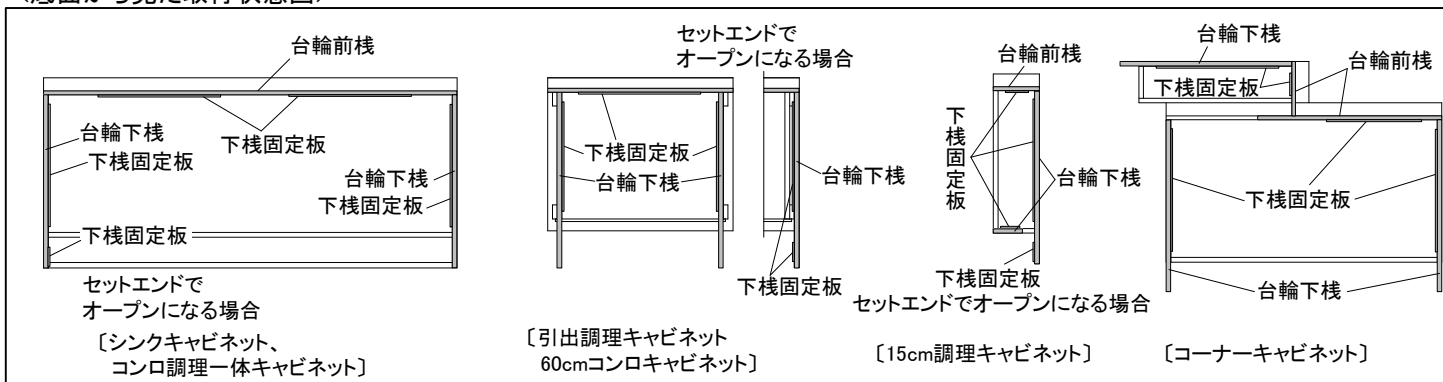


～コーナーキャビネットの場合～

コーナーキャビネット用台輪スペーサーには、台輪前枠が1本しか入っていません。下図寸法に切断して使用してください。

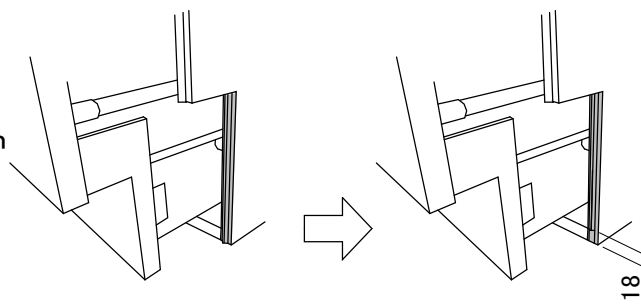


＜底面から見た取付状態図＞

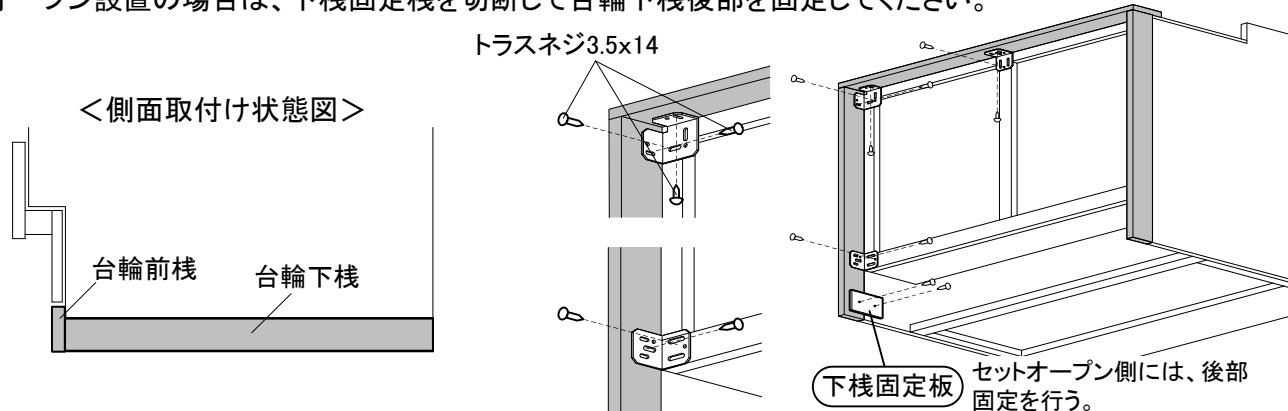


～足元スライドタイプの場合～

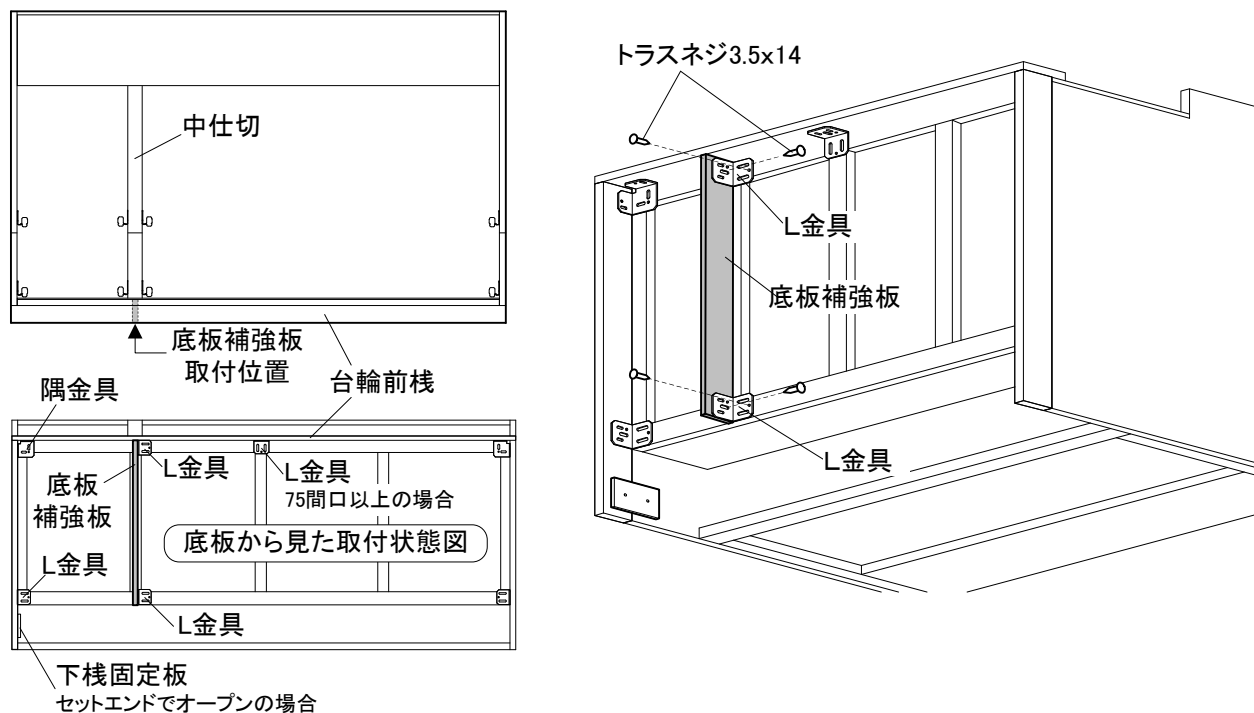
- ①図を参考に、キャビネット台輪部の左右の
パッキンの軟質部分のみをキャビネット底面から18mm
カットしてください。



- ②キャビネット底面に図を参考に金具で台輪前棧、台輪下棧をトラスネジ3.5x14で固定してください。
オープン設置の場合は、下棧固定棧を切断して台輪下棧後部を固定してください。



- ③(シンクキャビネット間口120cm、またはコンロキャビネット間口105cmの場合)
中仕切取付部の底板裏面に底板補強板をL金具とトラスネジ3.5x14で取付けて下さい。



【5. 台輪スペーサーの取付ービルトイン機器】(ワークトップ高さ90cmの場合)

(オープンレンジ、電子コンベクションレンジへの取付)

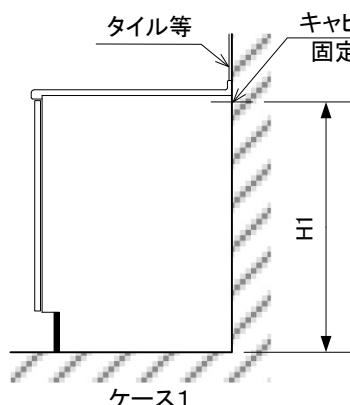
●機器本体の設置説明書を参照してください。

【6. キャビネットの仮置き・床面レベル出し】

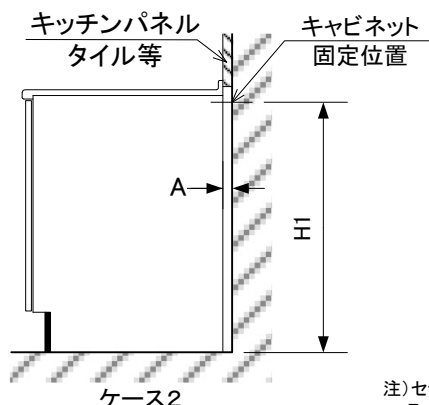
キャビネット設置位置に、キャビネットを仮置きした状態で、下記項目の確認を行ってください。

- キャビネット連結位置の確認。
- シンクキャビネット壁面固定位置の確認および、取り付け下地の確認。
- キャビネットが壁面より離れて設置される場合(ケース2)は、
取付用栈木(下図のA寸法厚みの木質材:現場手配)を皿ネジ等
(ネジ頭の出ないもの)で取付けてください。

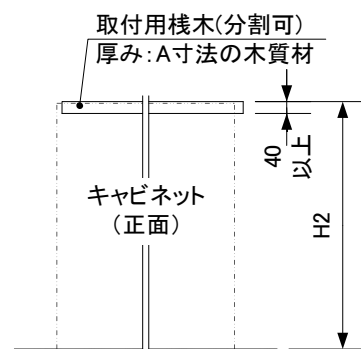
	単位mm		
ワークトップ高さ	900	850	800
H1寸法	860	810	760
H2寸法	886	836	786



ケース1



ケース2

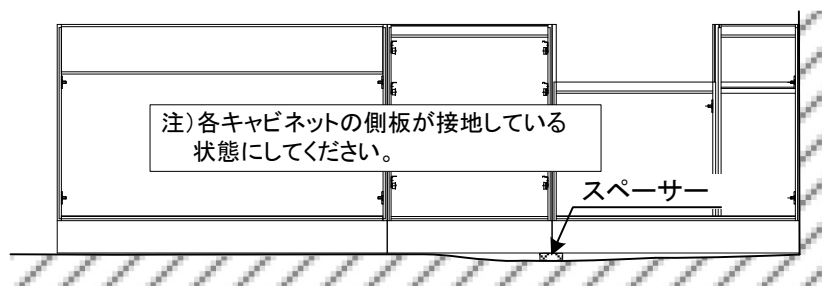


注) セットの外側は、化粧処理との関係で寸法を設定してください。
取付用栈木のネジ打ちは、壁の栈木のある所に行ってください。

- 床面のレベルが出ていない場合は、
キャビネットとの間に入れる適当な
スペーサーを用意してください。

⚠ 注意

床面のレベル(水平)の調整は必ず行ってください。
天板のたわみの原因になります。



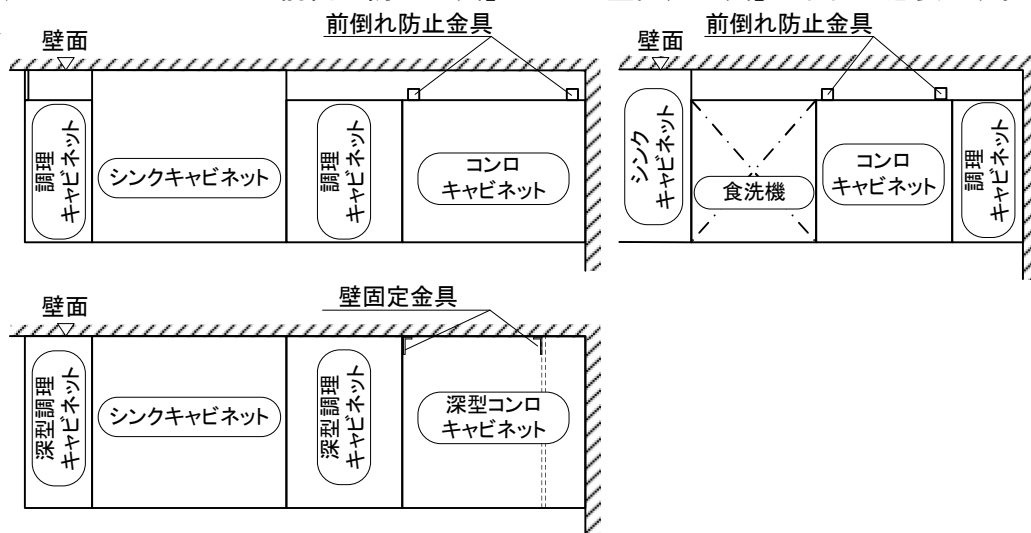
【7. 金具の取付】

下表の「○」に該当する場合は、コンロキャビネットに「前倒れ防止金具」もしくは「壁固定金具」の取付が必要です。

＜前倒れ防止金具取付有無一覧表＞

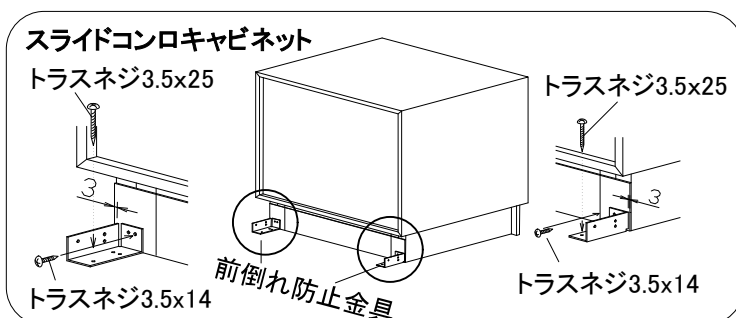
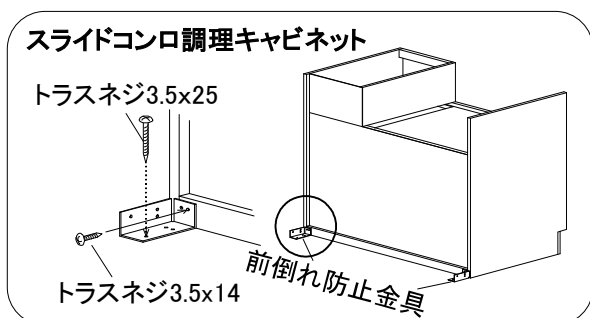
タイプ	ワークトップ高さ		
	80cm	85cm	90cm
扉タイプ	×	×	×
スライドタイプ	○	○	○
足元スライドタイプ	×	×	○

○…金具要
×…金具不要

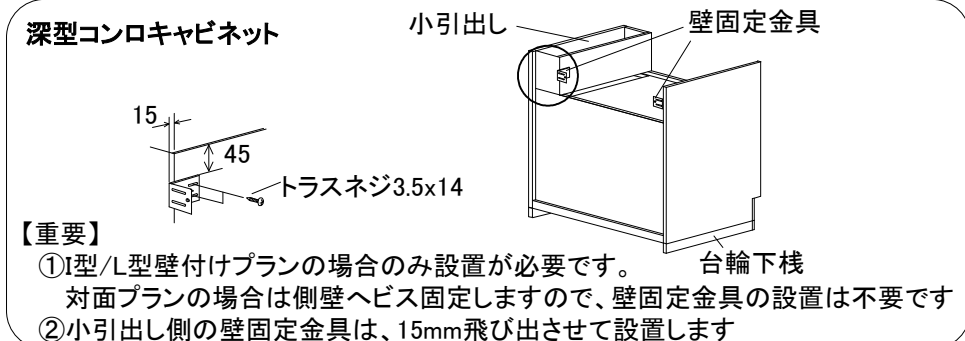
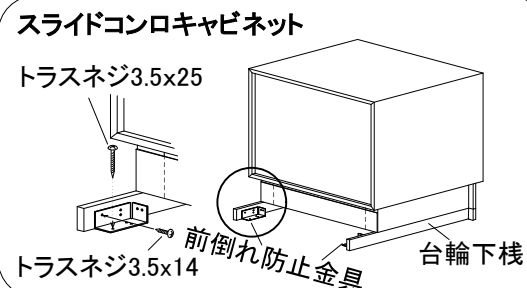
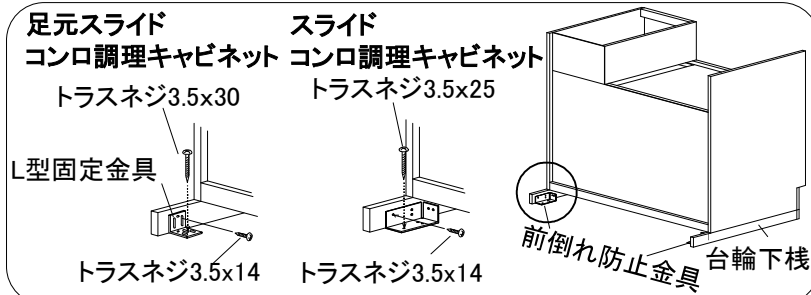


- ワークトップ高さ85cm・80cmの場合、前倒れ防止金具の取付はキャビネット背面下部に取付けます。
- ワークトップ高さ90cmの場合、前倒れ防止金具は、台輪下棧への取付になります。
- ワークトップ高さ90cm&深型コンロキャビネットの場合、「壁固定金具」をキャビネットの側板面へ取付けます。

＜ワークトップ高さ85cm・80cmの場合＞



<ワークトップ高さ90cmの場合>



【8. キャビネットの加工】

●給水・給湯管穴の加工

壁出しの場合は、シンクキャビネットの後板に、
床出しの場合は、シンクキャビネットの排水口蓋に
φ30程度の穴を加工してください。

※水受けタンク設置時は、水栓取付位置直下の
背板裏側に、タンク取付用下地材を貼り付けてください。

●排水管穴の加工

シンクキャビネット排水口蓋にφ40程度の穴を加工してください。

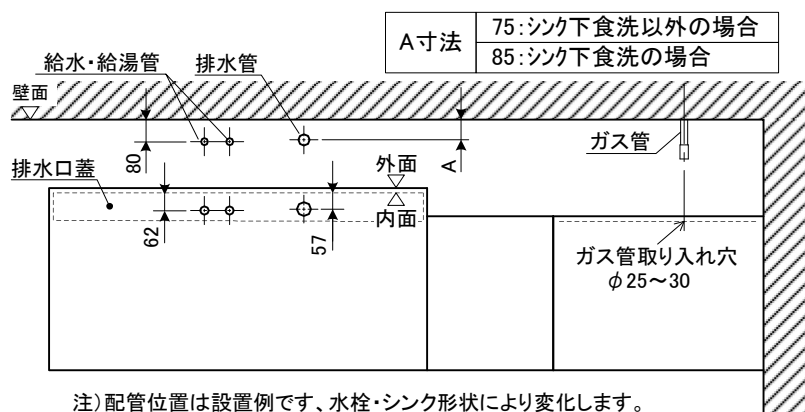
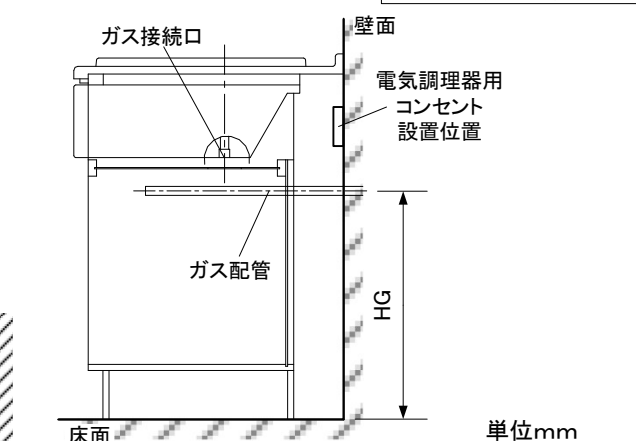
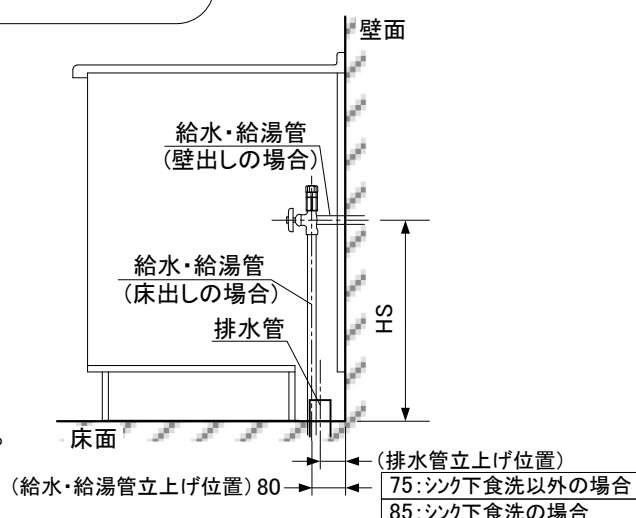
注)加工前に、

20ページ「7.排水部品の取付」

23ページ「10.給水・給湯管と水栓の接続」

「11.排水管の接続」

も合わせてお読みください。

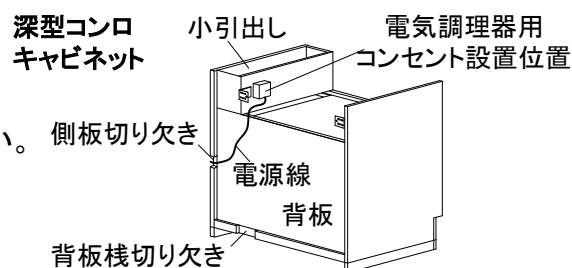


注)配管位置は設置例です、水栓・シンク形状により変化します。
排水管穴はφ40程度、給水・給湯管穴はφ30程度になります。

●電気調理器 電源線の加工 (深型コンロキャビネットのみ)

電源線はキャビネットの背板裏を通してコンセントへ接続します。

キャビネット側板/背板棧を必要に応じて切り欠き加工してください。

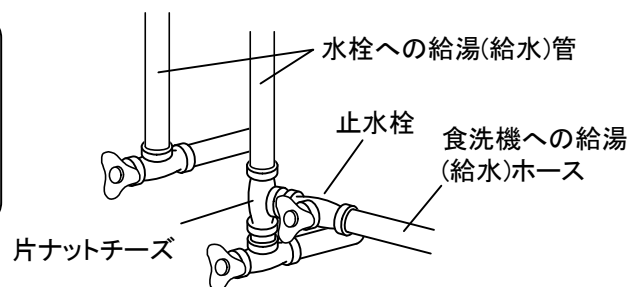


⚠ 注意

[食洗組込シンクキャビネットの場合]
シンク下食洗タイプの場合、給水・給湯管の食洗に接続する側の壁出し位置がチーズ分下がります。



チーズ分下げない場合は、
水栓の接続作業が困難になります。

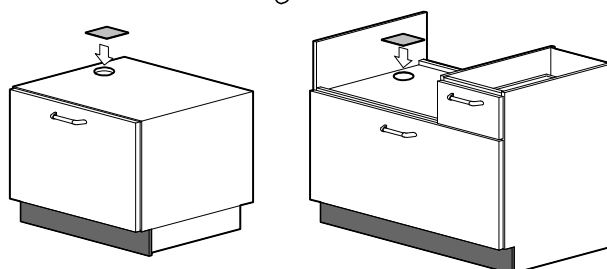


●ガス管穴の加工(ガスコンロの場合)

床面よりHG寸法の位置でキャビネット内にガス管を引き込んでください。

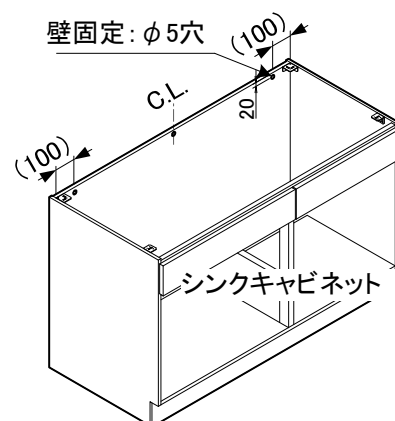
●ガス管穴の加工(電気調理機器の場合)

ガスキャビネットの上面に配管穴が開いている場合は、
付属の蓋で塞いでください。



●壁面固定穴加工

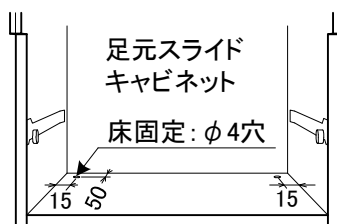
シンクキャビネットの後板にφ5穴を3箇所あけてください。



●床固定穴加工

下記条件にすべて当てはまるキャビネットは、
底板にφ4穴を2箇所あけてください。

- ・足元スライドタイプ
- ・ワークトップ高さ80cm・85cm(90cmは不要)
- ・コンロキャビネット



●タンク取付用下地材 貼付

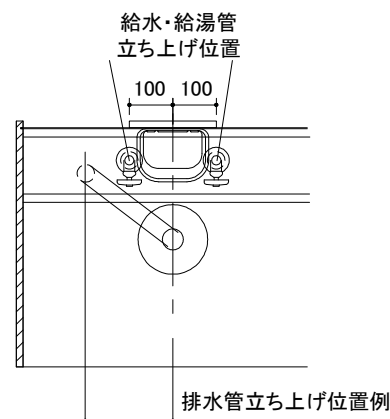
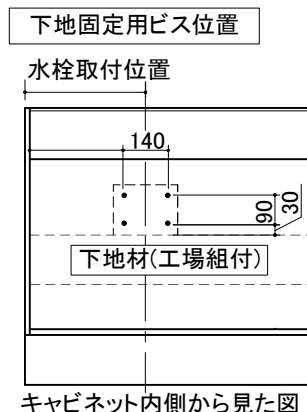
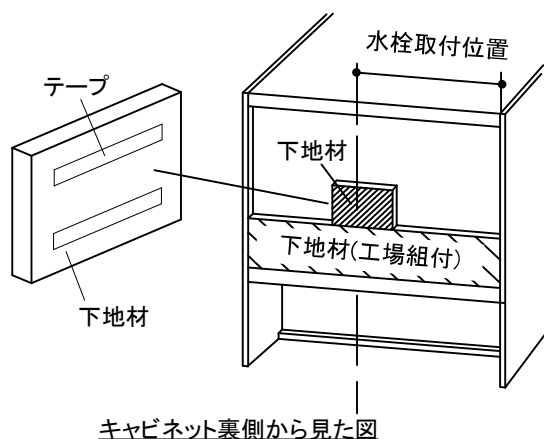
水受けタンク設置の場合は、下記の手順で下地材の取付が必要となります。

①本製品の裏面の両面テープをはがし、水栓取付位置を基準にしてキャビネット裏側から下地材を貼付けてください。

②キャビネットの内側から付属のネジを使用して、下地材を固定してください。

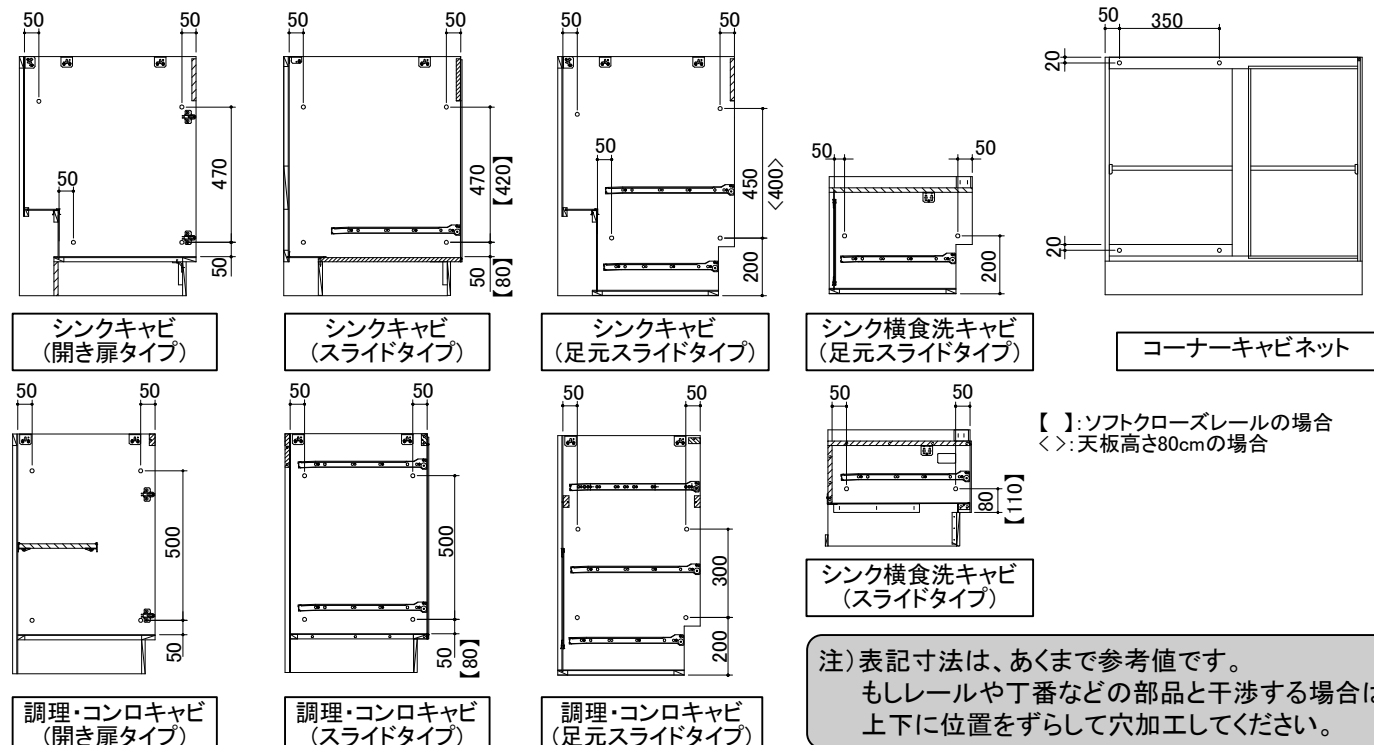
※給水・給湯管の立ち上げ位置はタイプに関わらず水栓位置からセンター振り分けにしてください。

下地材取付位置



●連結穴加工

隣接するキャビネットで、連結作業が容易な方の側板にφ4穴をあけてください。
 ただし連結するキャビネットの側板高さが異なる場合は、側板が低いほうに穴をあけてください。
 またコーナーキャビネットの場合、長辺側と短辺側の連結用穴(φ4)を桟部分に加工してください。



【9. キャビネットの連結・固定】

●キャビネットの設置

所定の位置にキャビネットを設置してください。

注)ビルトインレンジ仕様、電子コンベック仕様の場合は、
 キャビネットの設置と同時に所定の位置に器具本体を設置してください。

●壁面固定

①シンクキャビネットの後板の壁面固定穴から

TS皿タッピンネジ4.5x60で固定した後、ネジキャップを取り付けてください。

- ・深型コンロキャビネットで、「壁固定金具」を取付けたキャビネットは金具の穴からTS皿タッピンネジ4.5x60で固定した後、ネジキャップを取り付けてください(2箇所)。

●L型配列の場合は下記のネジを使用して、短辺側コーナーキャビネットと長辺側コーナーキャビネットを連結してください。

【ポイント】

短辺側コーナーキャビネットは、長辺側コーナーキャビネットの側板から30mm突出します。

トラスネジ3.5x35:2本	シンクキャビネットに同梱の小物セット
トラスネジ3.5x25:1本	梱包時のキャビネットからはずした連結ネジ

●キャビネット連結

連結穴よりTS皿タッピンネジ3.5x27で連結した後、ネジキャップを取り付けてください。

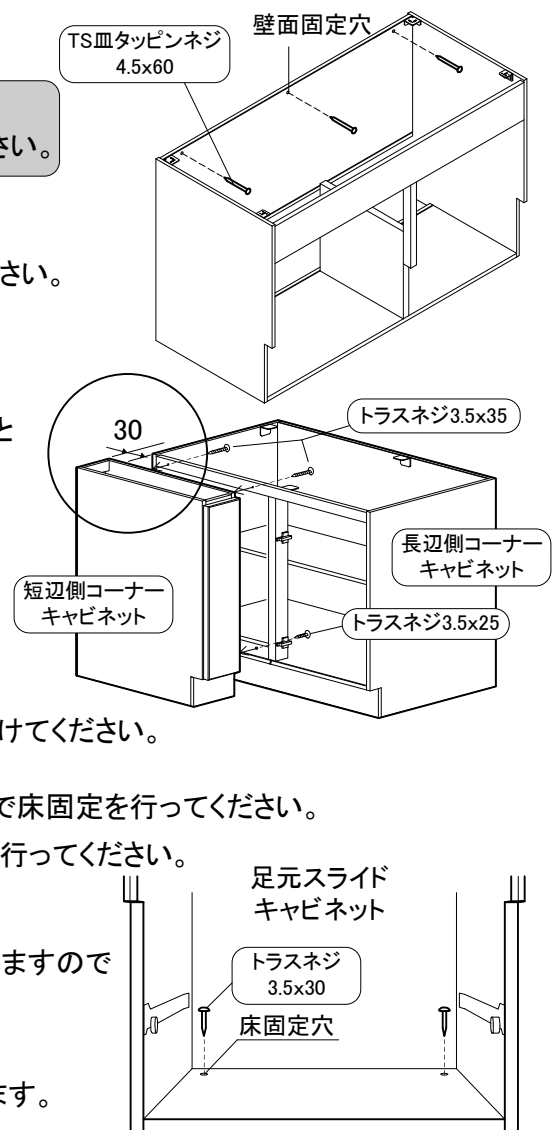
●床固定

- ・底板の床固定穴をあけたキャビネットがある場合は、トラスネジ3.5x30で床固定を行ってください。
- ・前倒れ防止金具、壁固定金具を取付けたキャビネットは、床/壁固定を行ってください。
 →取付ネジ・取付方法は、9ページの【7. 金具の取付】を参照。

●コンロキャビネットに付属のガス配管蓋は、ガス配管工事終了後使用しますのでわかる場所に保管しておいてください。

【10. キャビネットの補強】

●FIX調理で配管の為に側板を切り欠いた際には、適宜補強をお願いします。



5. 水栓の取付

【1. 水栓穴の加工】

水栓およびオプション品(アルカリ清水器、浄水器)を取付ける位置は、下図のようになります。

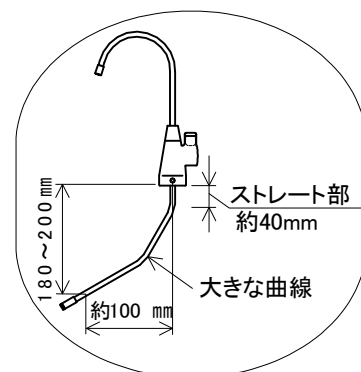
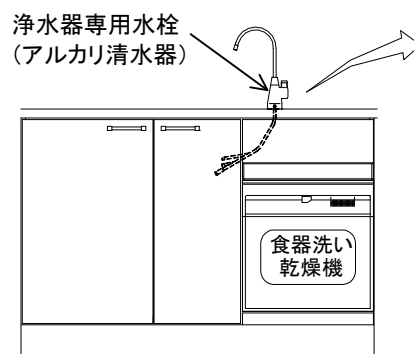
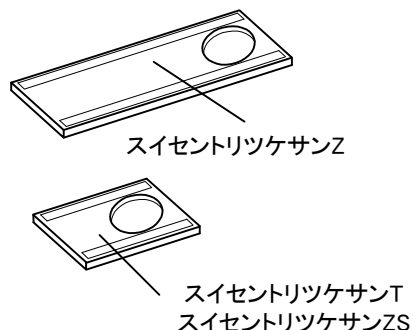
必要に応じてワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。

(図中●印:穴加工は不要 ○印:現場での穴加工が必要)

	Zシンク	人大シンクT	ZSシンク
標準 シンク横食洗の場合 食洗無しの場合	<p>水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 (穴径φ36~40) (215)</p> <p>水栓とアルカリ清水器・浄水器専用水栓は入替可能です。</p>	<p>水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 (穴径φ36~40)</p> <p>アルカリ清水器・浄水器専用水栓は左右どちらでも設置可能です。</p>	<p>水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 (穴径φ36~40)</p> <p>水栓とアルカリ清水器・浄水器専用水栓は入替可能です。</p>
シンク下食洗の場合	<p>水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 (穴径φ36~40) 食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。</p>	<p>水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 (穴径φ36~40) 食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。</p>	<p>水栓 アルカリ清水器 浄水器専用水栓 (穴径φ36~40) 食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。</p>

	ユーティリティーシンクE (水栓穴数1個タイプの場合)	ユーティリティーシンクE (水栓穴数2個タイプの場合)
標準 シンク横食洗の場合 食洗無しの場合	<p>水栓</p>	<p>アルカリ清水器 浄水器専用水栓 水栓</p>
シンク下食洗の場合	<p>水栓 食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。</p>	<p>アルカリ清水器 浄水器専用水栓 水栓 食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。</p>

- 注) 1. Zシンク/ZSシンク/人大シンクで水栓穴を現地加工する場合、別途、水栓下地「スイセントリツケサン」を取り付ける必要があります。取付方法は水栓下地に付属の説明書を参照してください。Zシンクには「スイセントリツケサンZ」、ZSシンクには「スイセントリツケサンZS」、人大シンクには「スイセントリツケサンT」を取り付けてください。
2. Zシンク/ZSシンク/人大シンクでシンク下食洗の場合、アルカリ清水器・浄水器専用水栓と食器洗い乾燥機が干渉して設置しにくい場合があります。その場合は水栓の取付をスムーズに行うため、取付前に水栓の銅管を曲げてください。
(※銅管を局部的に曲げないでください。銅管が破損する恐れがあります。)



銅管を食器洗い乾燥機と反対側に曲げる

【2. 水栓の取付】

水栓およびオプション水栓(アルカリ清水器・浄水器)は、それぞれに付属の設置説明書にしたがい取付けてください。

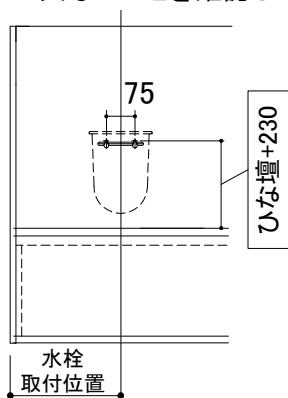
【3. 水受けタンクの取付】

水受けタンクに付属のスリーブをネジで取りつけ、右図を参考にしてタンクを取り付けてください。取付後はシャワーホースを出し入れして、タンク内からホースが出ないことを確認してください。

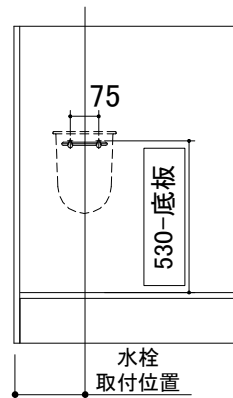
ZSシンクの場合

シンクキャビネット後板と水受けタンクの間にタンク取付棧ZSを取り付けます。

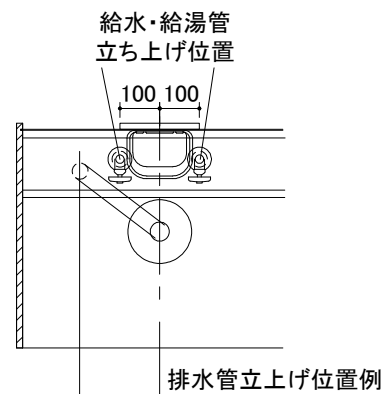
取付はタンク取付棧ZS付属のチラシを参照してください。



扉・足元スライドタイプの場合



シンク下食洗タイプの場合



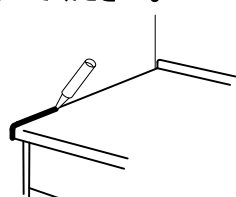
6. ワークトップの設置

⚠ 作業上の注意事項

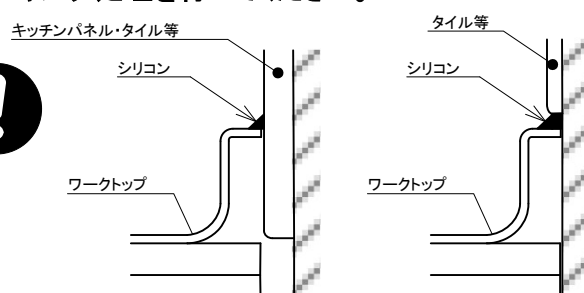
人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合、シリコンによる目地を3~4mmとってください。



温度変化による伸縮によりワークトップのそりの原因になるおそれがあります。



壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。



水が浸入した場合、腐食や、カビの発生の原因になるおそれがあります。

⚠ 作業上の注意事項（つづき）



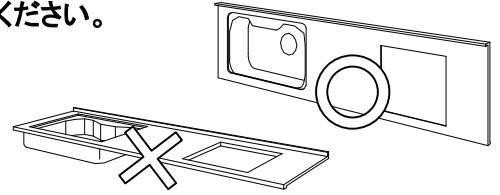
シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗淨しないでください。
製品が変形・変色するおそれがあります。



ワークトップ関連の作業を行っていない場合、ダンボール等で養生を行ってください。
壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつくおそれがあります。



ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。



横にして運んだ場合、ワークトップに損傷を与えるおそれがあります。

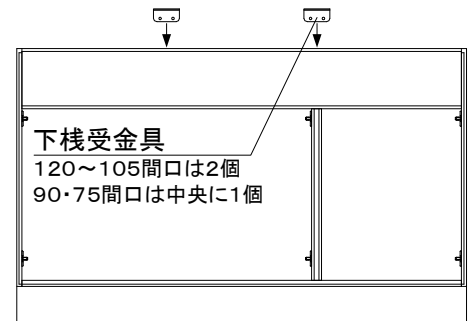
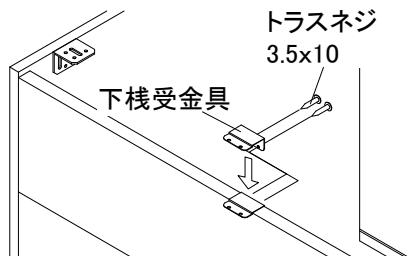
【1. ワークトップの取付前の準備】

①FIX扉の取り外し確認

シンクキャビネット:スライドタイプ・シンク下食洗タイプの場合
ガス横30cmのFIX調理の場合
FIX扉を取り外しておく必要があります。

②下棧受金具の取り付け

シンクキャビネットの図の位置に下棧受金具を取り付けてください。

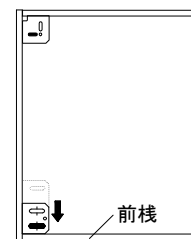


③L金具の前後調整

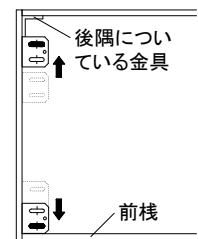
(ステンレス製ワークトップ、I型195cm～165cm・L型シンク側195cm～165cmの場合のみ)

シンクキャビネットのエンド側のL金具を移動してください。

- ・前側のL金具:前棧にあたるまで
 - ・後側のL金具:後隅についている金具にあたるまで
(後側のL金具の移動はシンク下食洗キャビネット以外の場合のみ)
- 移動したL金具よりネジでワークトップを固定してください。



シンク下食洗キャビネットの場合



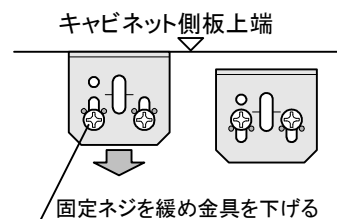
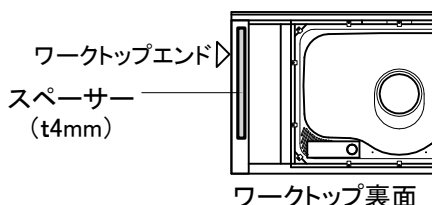
シンク下食洗キャビネット以外の場合

注)前側の金具からの固定は、手前の長穴より行ってください。

④L金具の上下調整

(人造大理石製ワークトップで、天板裏面のエンド側にスペーサーが貼ってある場合)

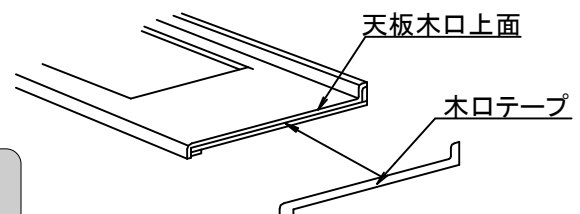
図のようにワークトップ裏面のエンド側に厚み4mmのスペーサーが貼ってある場合は、キャビネットのエンド側のL金具の取付ネジを緩め、図のようにL金具を下げてください。
調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



⑤(人造大理石製ワークトップで、加熱機器側の天板木口がオープンになる場合)

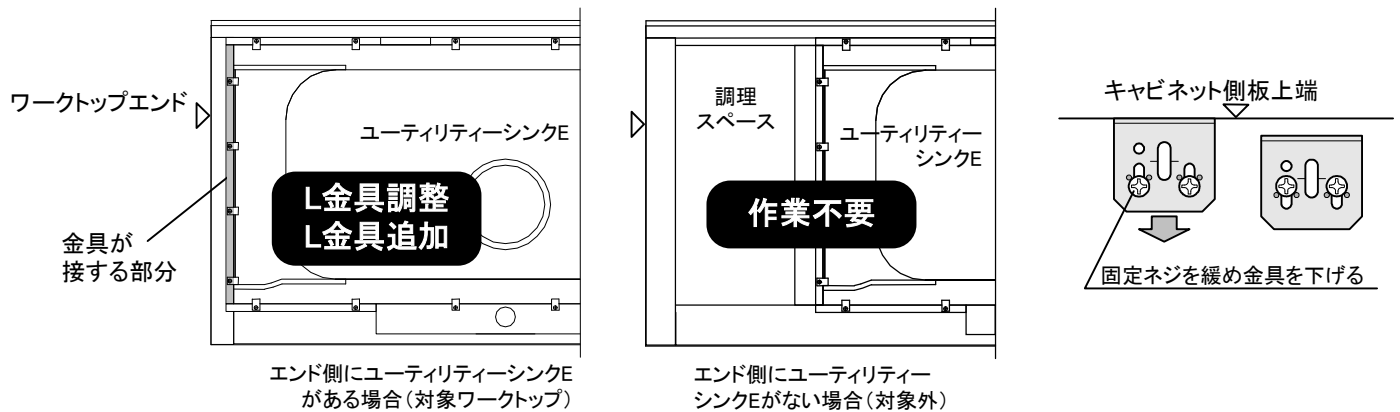
天板木口の汚れをアルコールで拭き取ってから、天板上面を基準にして、木口テープを貼ってください。
下面にはみ出た木口テープは、カッターやサンドペーパー等で除去してください。

注)冬場等で付きにくい場合は、貼り付け後、木口テープの上から、アイロンまたはドライヤー等で温めてください。



(ユーティリティーシンクE人造大理石製ワークトップで、エンド側にシンクがある場合)

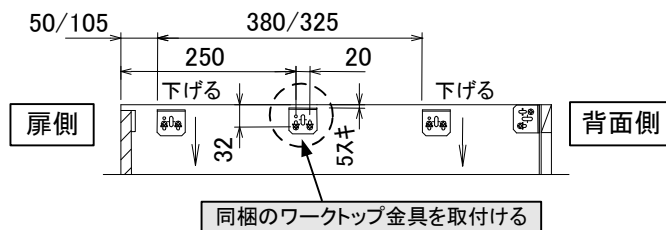
図のようにワークトップ裏面のエンド側に厚い裏貼材が貼ってある場合は、キャビネットのエンド側のL金具の取付ネジを緩め、図のようにL金具を下げてください。調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



⑤L金具の取付

(ユーティリティーシンクE人造大理石製ワークトップで、エンド側にシンクがある場合)

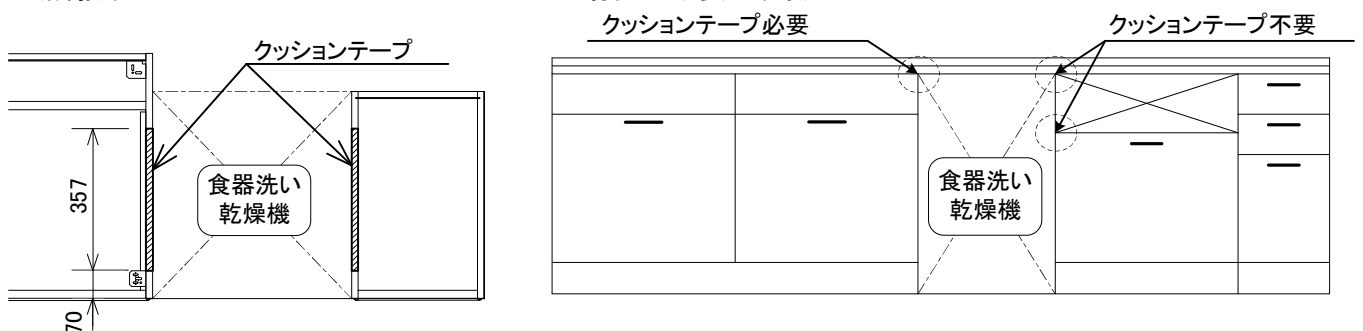
シンクキャビネットエンド側の側板に同梱のワークトップ金具を下図の位置に追加してください。



⑥クッションテープの貼付(人造大理石製ワークトップの場合のみ)※オフエリアを除く

ワークトップ裏貼材とキャビネットの間のスキ間をふさぐため、食器洗い乾燥機に隣接するキャビネットの側板上面所定の位置にクッションテープを貼付けてください。

(隣接するキャビネットがコンロキャビネットの場合は不要です。)

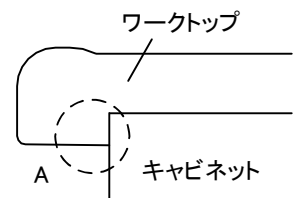


【2. ワークトップの取付・I型配列の場合】

①ワークトップの仮置き

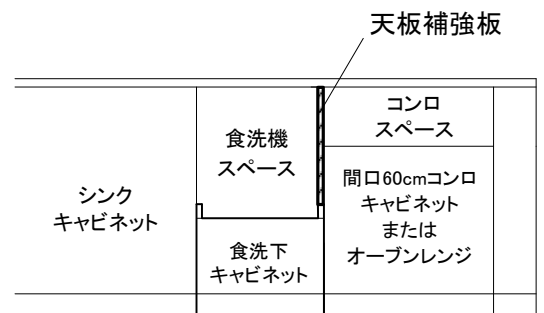
ワークトップをキャビネットにのせてください。

注)キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間(A部)にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

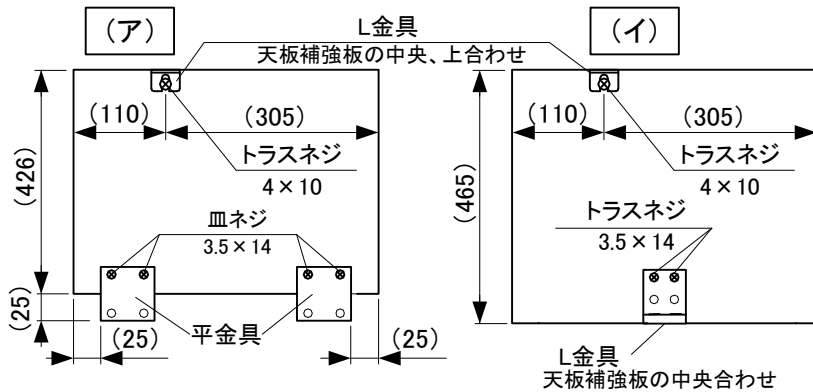


②天板補強板の取付

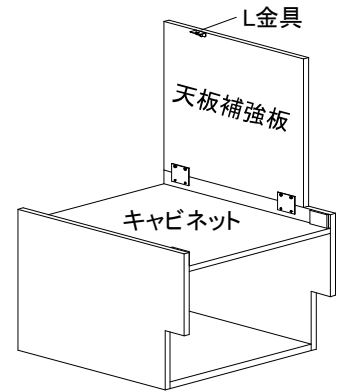
コンロと食洗機が横並びで設置されて、かつ、レンジ対応又は間口60cmコンロキャビネットを設置する場合は天板補強板を取付けてください。



②-(1)天板補強板に平金具とL金具をネジで取付けてください。



注)左図の取付位置はキャビネットの右側に取り付ける場合です。左側に取り付ける場合は左右対称になります。

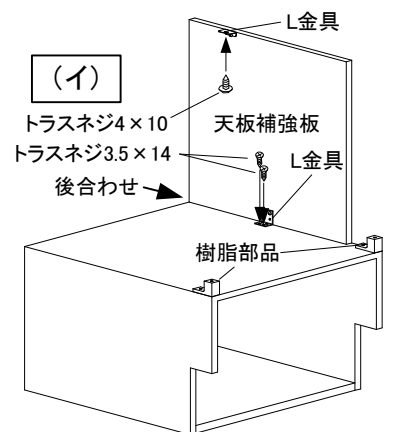
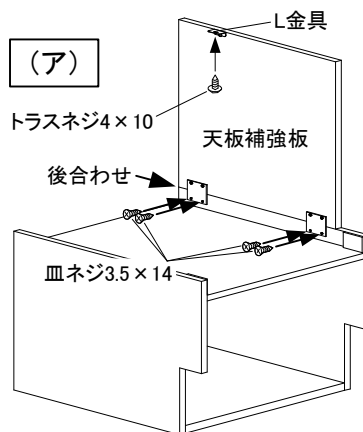


②-(2)食洗下キャビネットの側板に天板補強板を取付けてください。

食洗下キャビネットは2タイプあります。

(ア)タイプ:側板が伸びているタイプ

(イ)タイプ:側板が伸びていないタイプ(樹脂部品取付タイプ)



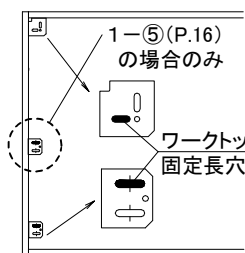
②-(3)上側のL金具よりワークトップにネジを打って、天板補強板を固定してください。

③ワークトップの固定

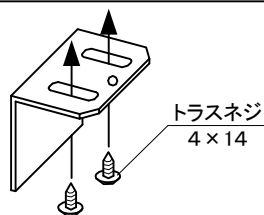
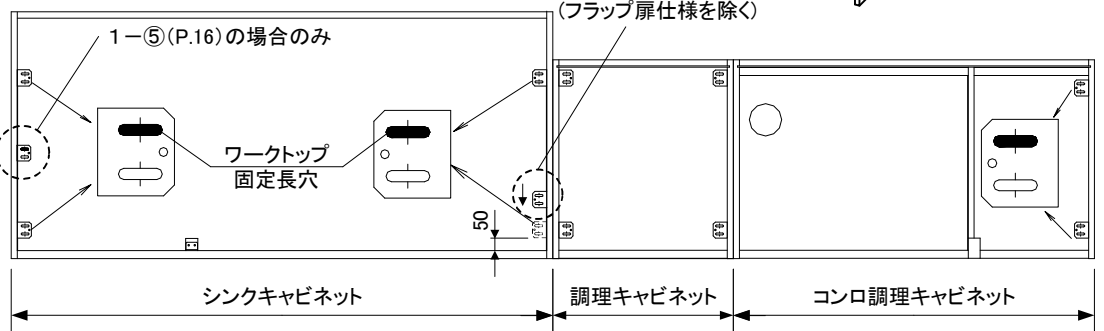
キャビネットのL金具よりネジでワークトップを固定してください。

固定位置は、ワークトップの両サイドと、中央付近です。

(L金具には長穴と丸穴があいています。間口調整ができるように長穴の中央付近からネジ打ちしてください。)




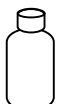

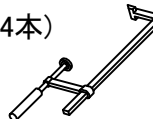


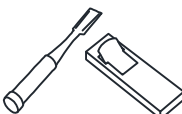

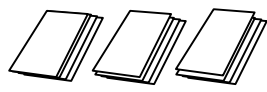

シンク下食洗キャビネットの場合



注)ユーティリティシンクE人造大理石製ワークトップで、エンド側にシンクがある場合(1-⑤(P.16)参照)は、同梱のトラスネジ4x14(6本)でシンク側L金具とワークトップを固定してください。

【3. ワークトップの取付・L型配列の場合】

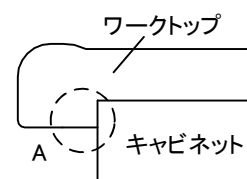
●人造大理石ワークトップの場合 各現場でご用意いただく工具類

ウェス 	工業用アルコール 	マスキングテープ 	ハンドバイス (4本) 	瞬間接着剤 	ハンマー 
ノミ・カンナ※1 	オービタルサンダー (またはランダムサンダー) 	サンドペーパー※2 		ナイロンタワシ (スコッチブライト7447等 #320相当のもの) 	
※1 ポリエステル系人造大理石の場合は不要です。 ※2 サンドペーパーの番手は天板材質により異なります。 アクリル人造大理石: #120・#240・#400 ポリエステル系人造大理石: #180・#240・#320					

①ワークトップの仮置き

ワークトップ(人造大理石製の場合は凹側)をキャビネットにのせてください。

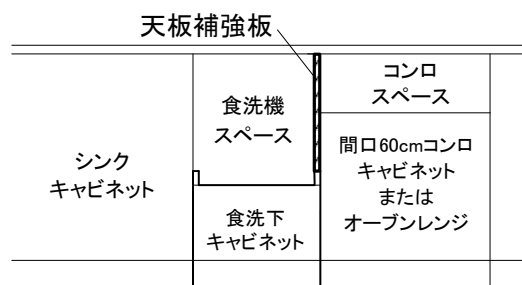
注)キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間(A部)にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。



②天板補強板の取付

(コンロと食洗機が横並びで設置されて、かつ、レンジ対応又は間口60cmコンロキャビネットを設置する場合のみ)

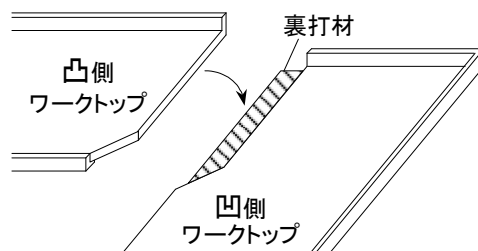
16ページ「②天板補強板の取付」を参照して取付けしてください。



③凸側ワークトップの仮置き

(人造大理石製の場合のみ)

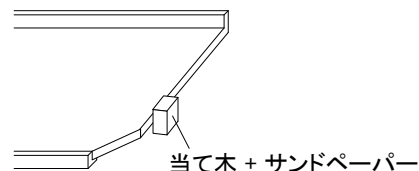
凹側ワークトップの裏打ち材の上にのせるようにキャビネットの上に設置してください。



両方のワークトップを所定の位置に仮置きし、

接合部が密着することを確認してください。

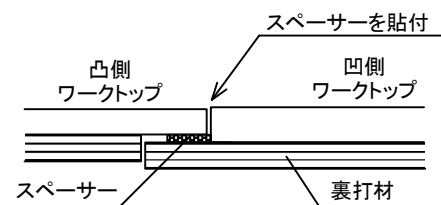
接合部に隙間がある[目安:0.25mm以上]場合は、当て木を包んだサンドペーパーで接合面を研磨し、できるだけ隙間なく密着する様にしてください。



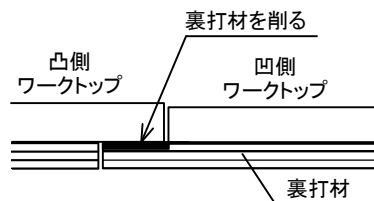
ワークトップの段差が大きい場合は、段差を小さく調整してから接着作業を行ってください。

・凸側のワークトップが低い場合:同梱のスペーサーを貼付

・凸側のワークトップが高い場合:裏打ち材を削る



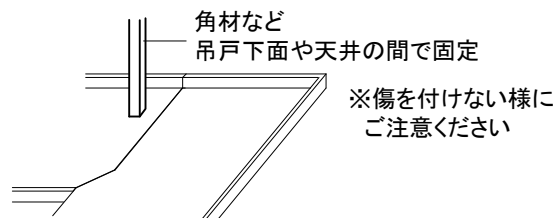
<凸側のワークトップが低い場合>



<凸側のワークトップが高い場合>

天板の反りなどで部分的に浮きがある場合、必要に応じて天板を押さえてください。

(仮合わせの段階で押さえる位置を決め、接着剤塗布→天板引き寄せ後に押さえる→ハンドバイスを締める)



④ワークトップの固定

(ステンレス製ワークトップの場合)

キャビネットのL金具よりネジでワークトップを固定してください。

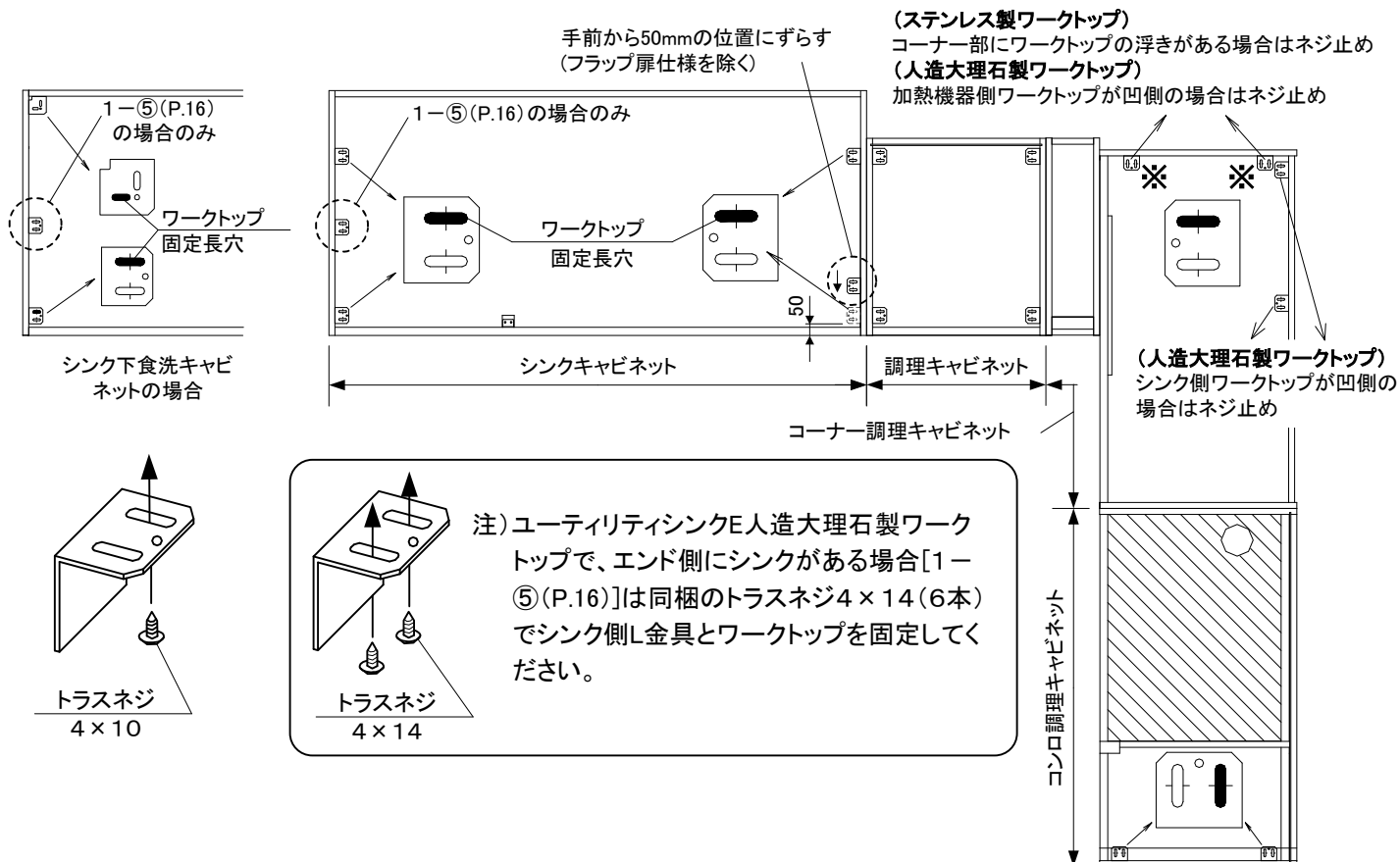
固定位置は、ワークトップの両端とシンクキャビネットのコーナー側、コーナーキャビネット中央部のL金具になります。固定の際は、まずワークトップの両端から固定し、コーナーキャビネットからの固定を最後に行います。

注) ワークトップのコーナー奥部(※)がキャビネットより浮いている場合は、コーナーキャビネット奥部のL金具よりネジで引きつけてください。

(人造大理石製ワークトップの場合)

キャビネットのL金具より、ネジで凹側ワークトップの両端を固定してください。

(L金具には長穴と丸穴があいています。間口調整ができるように長穴の中央付近からネジ打ちしてください。)



以下⑤～⑩までは、人造大理石製ワークトップの場合のみお読みください

- ⑤ワークトップの接合面およびその周辺(巾約5cm)をきれいなウェスを使って、工業用アルコールで十分ふいてください。

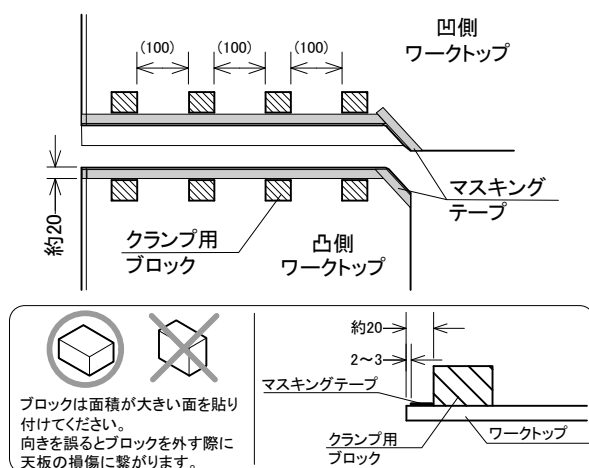
注)シンナー・ベンジン等の有機溶剤を含むクリーナー類を使うと天板にダメージを与える可能性があります。

- ⑥付属のクランプ用ブロック(木質材)を所定の位置に貼付けてください。

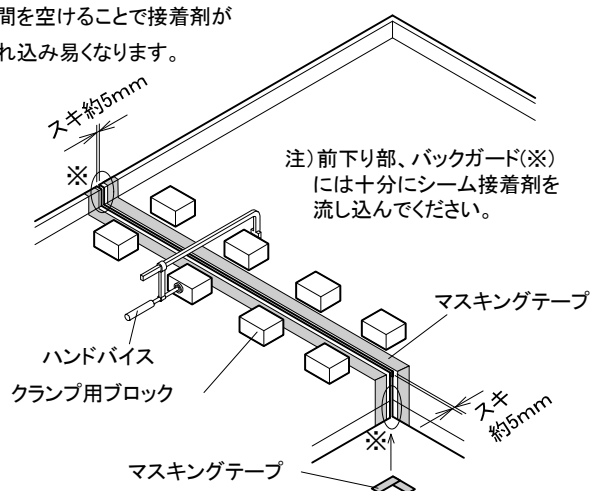
注)接着剤は木工用瞬間接着剤(アイカアイボン、アロンアルファ)または、ホットメルト接着剤を使用してください。

- ⑦接合部のスキ間が約5mmになるように凸側天板を設置してください。

接合部周辺、及び前下り部の下面にマスキングテープを貼り付けてください。



隙間を空けることで接着剤が流れ込み易くなります。



- ⑧接着作業

○接着作業はシーム接着剤の説明書にしたがって、作業してください。

○接着剤注入後、手で天板を寄せてから、ハンドバイスでクランプ用ブロックを締めつけてください。

注) ●硬化するまでバイスははずさないでください。

●接着部分に爪痕がつかない程度に硬化すれば、次工程に進んでください。

但し、ワークトップを加熱した場合は、常温まで冷やしてから作業を行ってください。

●低温時に作業する際は、接着剤を流しこむ前に接合部付近を30℃程度まで暖めておくとも早く硬化します。

- ⑨ワークトップ(加熱機器側)の固定

キャビネットのL金具よりネジでワークトップ(凸側)を固定してください。

- ⑩接合部の仕上げ作業

接着剤が硬化した後、シーム接着剤の説明書にしたがって、仕上げ作業を行ってください。

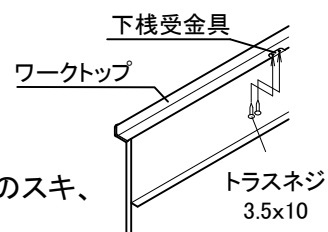
【4. ワークトップの取付後の作業】

- ①下桟受金具よりの固定

下桟受金具よりワークトップ前下がり部にネジで固定してください。

- ②コーキング

ワークトップ取付後、ワークトップ立ち上がりと壁面とのスキ、ワークトップと横壁とのスキ、またオープン設置の場合は、ワークトップとキャビネットのスキをシリコンでシールしてください。



- ③加熱器具フィラーの取りはずし

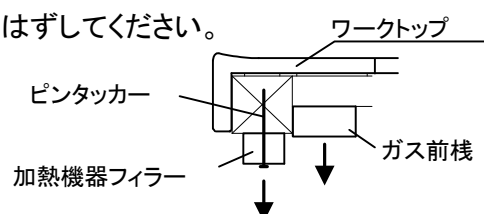
(間口45cm電気加熱機器をセットする場合のみ)

・ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーおよびガス前桟を取りはずしてください。

・加熱器具フィラーは引っ張ってははずしてください。

・ガス前桟はノミで削りとってください。

注)加熱器具フィラーを止めていたピンタッカーも合わせて外してください。



7. 排水部品の取付

【1. 設置準備】

①シンクの排水器具取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

⚠ 注意 排水器具取付部にフィルムが貼ってある場合は、フィルムをはがして取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

! フィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れの原因になります。

⚠ 注意 排水器具取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。

! 下図の×のように均一でないと、フィルムが取りにくくなります。

フィルムが貼ってある場合は、フィルムをはがす。

スキ(均一)

スキ(大) × スキ(小)

スキが小さいとフィルムが挟まる。

②下表で排水エルボ寸法を確認して、排水エルボを切断してください。

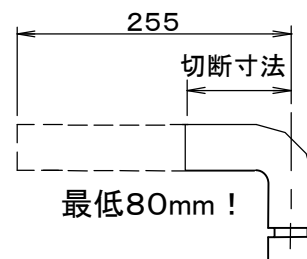
＜SUSシンク用ストラップ、人大シンクの場合＞ ※シンク種類はP.13参照

シンクキャビネット	シンク種類						
	Zシンク	ZSシンク	人大シンクT	ユーティリティーシンクE(ノーマル)水栓1穴	ユーティリティーシンクE(ノーマル)水栓2穴	ユーティリティーシンクE(排水ロー一体)水栓1穴	ユーティリティーシンクE(排水ロー一体)水栓2穴
切断寸法	80	120	80	120	120	170	170

⚠ 注意 切断寸法は、最低80mmを守ってください。

! 80mmより短くするとエルボの抜けや、漏水の原因となります。

⚠ 注意 排水管の位置が標準配管と異なり、その排水管の位置に合わせて排水蓋に穴加工した場合は、排水エルボの切断は現場合わせて行ってください。



＜SUSシンク用N41/N40トラップの場合＞

直管配管の立ち上げ位置からトラップまでの寸法を測定し、排水エルボをカットしてください。

【2. 排水部品の取付】

SUSシンク用Sトラップの場合

※ユーティリティシンクE
(排水ロー体を除く)

※トラップに同梱の設置チラシもあわせてお読みください。

- ①排水器具にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注)排水器具のパッキン溝部にパッキンがきちんと収まっているか確認してください。(A部詳細)

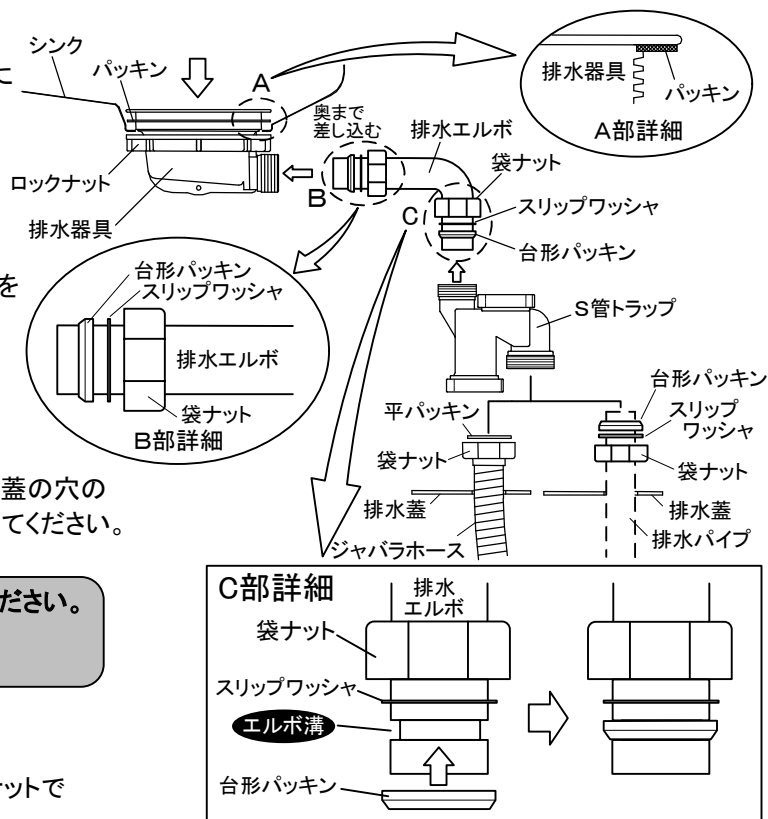
- ②排水器具をロックナットで仮固定してください。
③排水エルボに袋ナット、スリップワッシャ、台形パッキンを差し込んでください。

注)差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(B・C部詳細)

- ④排水エルボとS管トラップを仮接続してください。
⑤排水器具に排水エルボを接続して、S管トラップが排水蓋の穴の位置にくるように排水器具、S管トラップを回して調整してください。(下図参照)

注意 台形パッキンは必ず図の向きで、溝に入れてください。
向きを間違えたり、溝にはまっていないと漏水の原因となります。

- ⑥仮接続のロックナット、袋ナットを締め付けてください。
⑦<ジャバラホース接続の場合>
ジャバラホースを平パッキンを介してS管トラップに袋ナットでしっかり締め付けてください。
<直管接続の場合>
台形パッキン、スリップワッシャと袋ナットをS管トラップに仮固定してください。



<排水エルボ・S管トラップの向き一覧> オフシアの場合

※シンク種類はP.13参照

タイプ	Zシンク、ZSシンク、人大シンク	ユーティリティシンクE
シンク下 食洗	給水給湯管、S管トラップ、排水エルボ、排水器具、食洗機スペース	給水給湯管、S管トラップ、排水エルボ、排水器具、食洗機スペース
シンク下 食洗以外	給水給湯管、S管トラップ、排水エルボ、排水器具	給水給湯管、S管トラップ、排水器具、排水エルボ、水栓穴2穴、主水栓右側の場合は左右対称

リフィット・グレーシアの場合

タイプ	Zシンク、ZSシンク、人大シンク	ユーティリティシンクE(水栓1穴)	ユーティリティシンクE(水栓2穴)
シンク下 食洗	給水給湯管、S管トラップ、排水エルボ、排水器具、食洗機スペース	S管トラップ、給水給湯管、排水エルボ、排水器具、食洗機スペース	給水給湯管、S管トラップ、排水エルボ、排水器具、食洗機スペース
シンク下 食洗以外	給水給湯管、S管トラップ、排水器具、排水エルボ、排水器具	S管トラップ、給水給湯管、排水エルボ、排水器具	給水給湯管、S管トラップ、排水器具、排水エルボ、主水栓右側の場合は左右対称

注)排水エルボは排水器具接続口の奥まで十分に差し込み、調整後は袋ナットをしっかり締め付けてください。
また、Sトラップへの差込み量が浅くならないように注意してください。



人込シンク・ユーティリティシンクE(排水ロー一体)の場合

※トラップに同梱の設置チラシもあわせてお読みください。

①排水栓と排水口の取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注)排水栓と排水口の取付部に異物が残っていると水漏れの恐れがあります。

②排水栓に平パッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注)排水栓取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。

③排水栓をロックナットで仮固定してください。

④排水エルボの排水栓に差し込む側に、袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注)差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。

⑤排水エルボのOリングに傷や汚れの付着が無いか確認のうえ、ストラップに差し込んでください。

注)B部の赤いラインが見えている場合は指し込みが不足しています。
カチッと音がするまで、奥に差し込んでください。

⑥排水パイプを排水蓋の穴に通してください。

⑦排水栓に排水エルボを接続し、ストラップが配管蓋の穴の位置にくるように排水栓・ストラップの向きを調整してください。(P.22参照)

注)排水エルボは排水栓の奥まで指し込み、袋ナットをしっかり締め付けてください。

⑧ストラップに排水パイプを取付けてください。

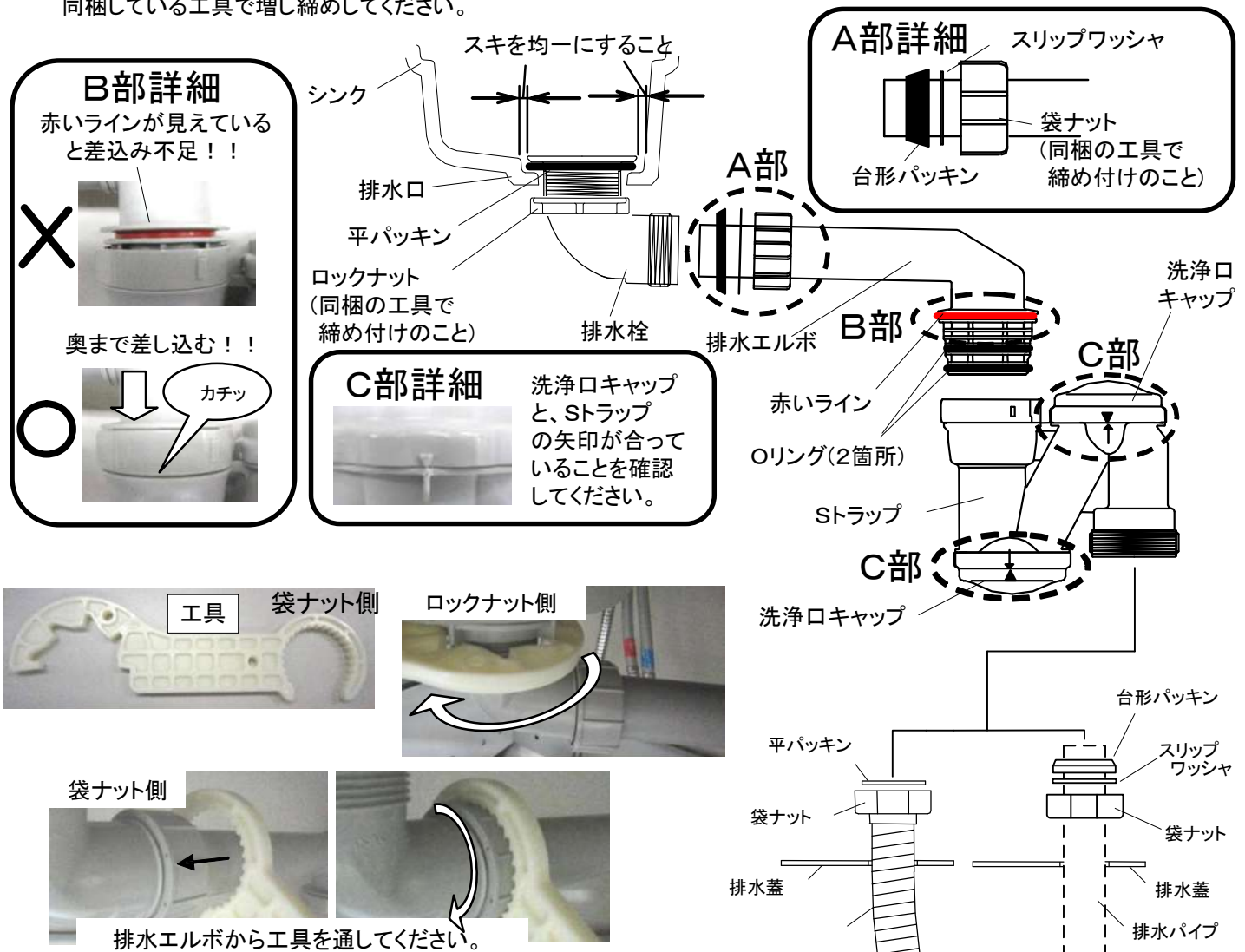
＜ジャバラホース接続の場合＞

ジャバラホースを平パッキンを介してS管トラップに袋ナットでしっかり締め付けてください。

＜直管接続の場合＞

台形パッキン、スリップワッシャーと袋ナットをS管トラップに仮固定してください。

⑨接続完了後、＜排水栓のロックナット＞＜排水栓と排水エルボを接続している袋ナット＞を同梱している工具で増し締めしてください。



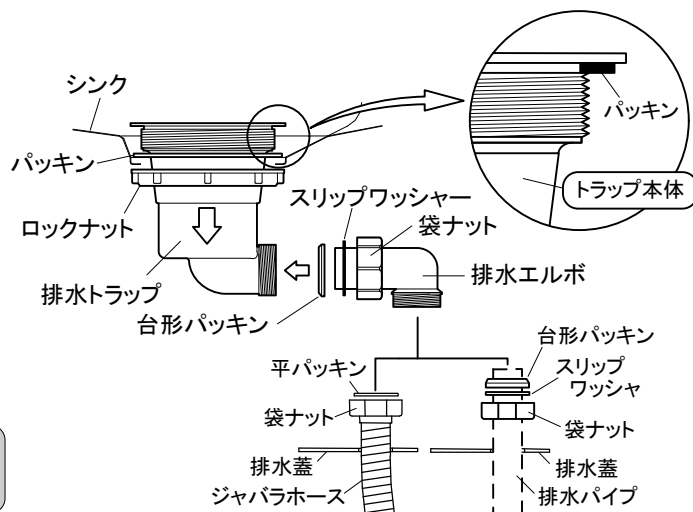
SUSシンク用N41/40トラップの場合

- ①排水トラップにパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注)トラップ本体のパッキン溝部にパッキンがきちんと収まっているか確認してください。

- ②排水トラップの排水口が真後ろを向くようにロックナットを締め付けてください。
ロックナット締め付け工具は別途手配してください。
- ③排水エルボに袋ナット・台形パッキンを装着してトラップ本体に袋ナットで取り付けてください。

注)エルボはトラップ接続口の奥まで十分に差し込み、袋ナットをしっかり締め付けてください。



- ④＜ジャバラホース接続の場合＞

ジャバラホースを平パッキンを介して排水エルボに袋ナットでしっかり締め付けてください。

＜直管接続の場合＞

台形パッキン、スリップワッシャーと袋ナットを排水エルボに仮固定してください。

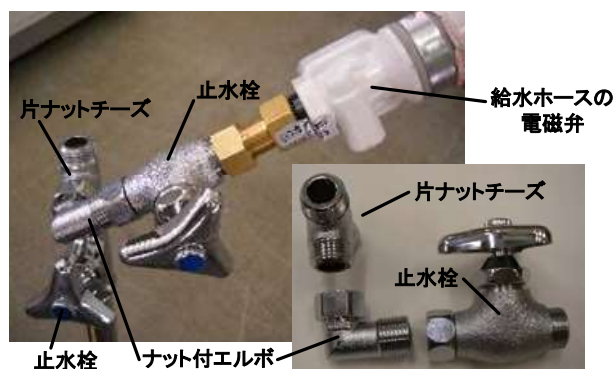
8. 加熱器具の設置

加熱器具に付属の設置説明書にしたがって行ってください。

9. 食器洗い乾燥機の設置

食器洗い乾燥機の設置説明書にしたがってください。

注)パナソニック製 間口45cmの食器洗い乾燥機は、給水ホースの先端に電磁弁が付いているため、接続しにくくなっています。給水ホースが引出や収納物、トラップ等と干渉しないように接続するため、別売部品のナット付エルボを片ナットチーズと止水栓の間に取付けて接続してください。ナット付エルボが無くては接続できる場合は、不要です。



10. 給水・給湯管と水栓の接続工事

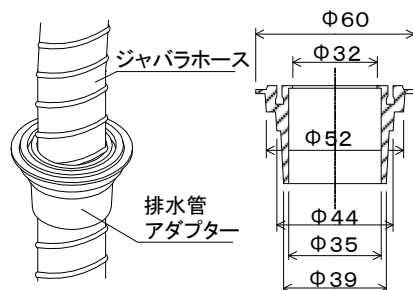
- 配管工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
- 配管工事は水栓の設置説明書にしたがって行ってください。
- 接続工事終了後、排水口蓋をネジで固定してください。(後工事がある場合は不要)

11. 排水管の接続

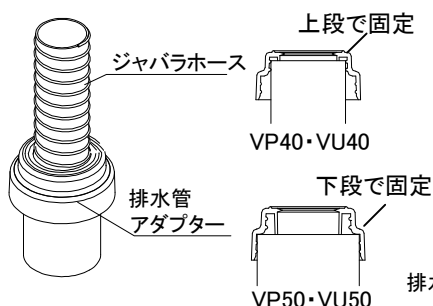
＜ジャバラホース接続の場合＞

- ①ジャバラホースに排水管アダプターを取付けてください。
- ②排水管アダプターを排水管に差し込みスキ間のないように完全にシールしてください。
- ③排水口蓋を元に戻し、ネジで固定してください。

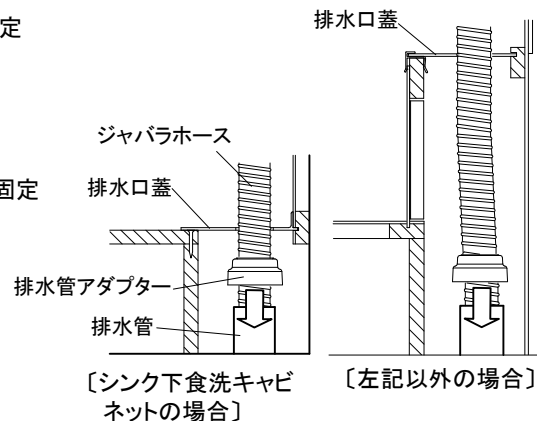
注) 排水管アダプターは、下記のいずれかが同梱されています。形状を確認の上、作業してください。



VP-40(内径φ40)、VU-40(内径φ44)、
VP-50(内径φ51)の排水管に接続可能。



VP-40、VU-40、VP-50、VU-50の
排水管に接続可能。



〔シンク下食洗キャビネットの場合〕

〔左記以外の場合〕

排水パイプが長い場合は、必ず切断してください。

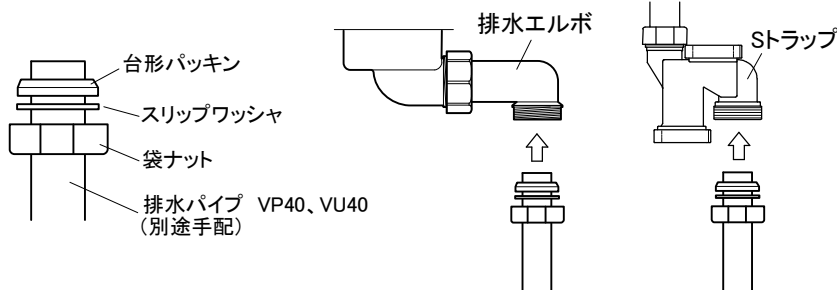


排水パイプを長いまま差し込むと、
排水不良の原因になります。



＜直管接続の場合＞

- ①袋ナット、スリップワッシャー、台形パッキンを下図の通り、排水パイプ(VP40、VU40)に通し取付けてください。
- ②排水パイプの長さは排水エルボ、ストラップに十分な長さが入るように調整願います。



12. エンドパネルの取付

エンドパネルの取付は、エンドパネル付属の設置説明書にしたがって行ってください。

13. 収納部品の取付

【1. 小物カゴ】(Zシンク、ZSシンク、人大シンクTの場合のみ)

固定ピンに引っ掛けてください。

【2. 排水プレート、アミカゴ】

排水器具内にワークトップ付属の排水プレート、アミカゴを
セットしてください。

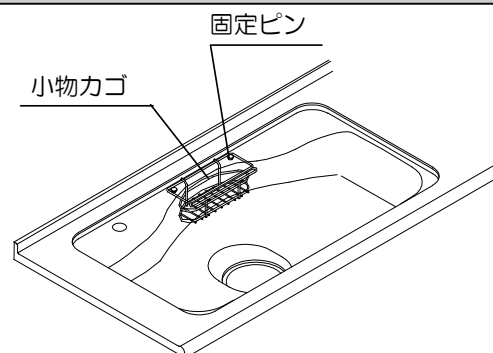
(シンクの種類により、排水プレートの形状が異なります。)

【3. 扉、引出、棚板、他】

扉、引出、棚板等外した部材を取付けてください。(5、6ページ参照)

注) 引出裏面には前板固定金具が取付けられている場合があります。

引出の調整後、キャビネットに付属のネジ(トラスネジ3.5x14)で固定してください。(P.26【14. 扉の調整】参照)



14. 扉の調整

【1. 開き扉】(丁番の調整)

①前後調整

Cのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。

②左右調整

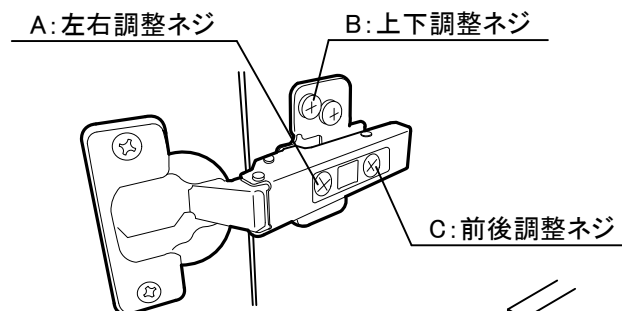
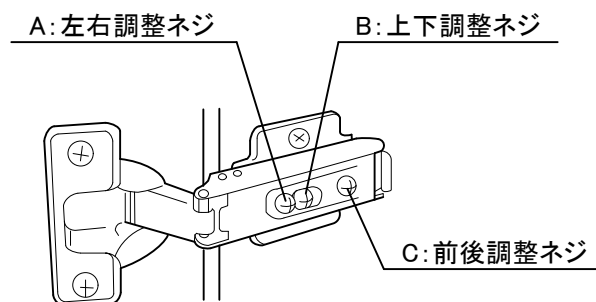
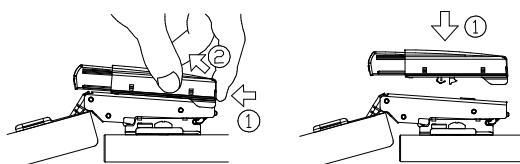
Aのネジを調整することにより、扉が左右に動きます。

③上下調整

Bのネジを緩めることにより扉が上下に動きます。

注)調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

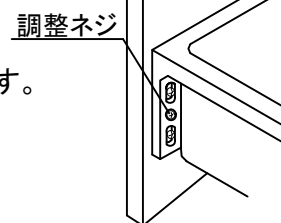
ソフトクローズダンパー付の場合は、下図を参考にまずダンパーを外し、調整後に再度取付けてください。



【2. 引出】(樹脂製引出)

引出表板裏面の樹脂引出部に露出しているネジを緩めると、引出表板が調節可能になります。

注)調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



【3. スライド扉】

※スライド扉には側板の形状で3タイプがあります。

①スライド扉の左右方向の調整

(ア)タイプ:Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。

(イ)タイプ:スライド扉側枠のカバーをはずして、側板左右のAのネジを回して左右調整をしてください。

②スライド扉の上下方向の調整

(ア)タイプ:Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。

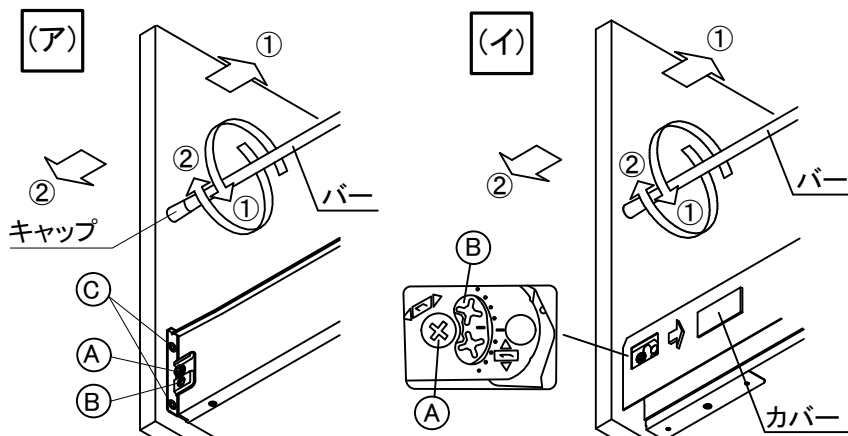
(イ)タイプ:スライド扉側板のカバーをはずして、Bにドライバー差し込み回転させて上下調整をしてください。

③スライド扉の前後方向(角度)の調整

左右のバーまたはキャップを回して扉の角度調整を行ってください。

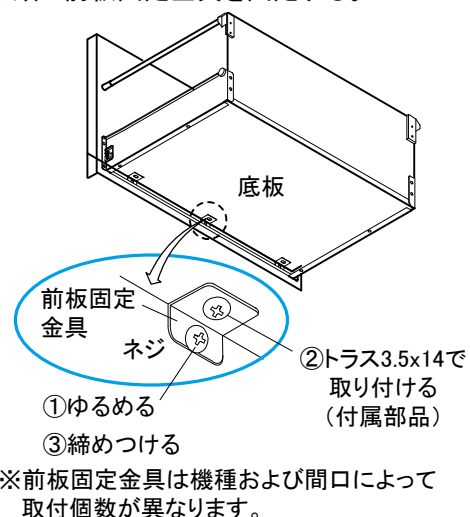
④仕上げ

調整後、引出裏側に前板固定金具が取り付けられている場合は、金具と引出底板を①～③の手順で固定してください。



	(ア)	(イ)
引出側板形状		

上下・左右調整を行った後、下記①～③の手順で前板固定金具を固定する。



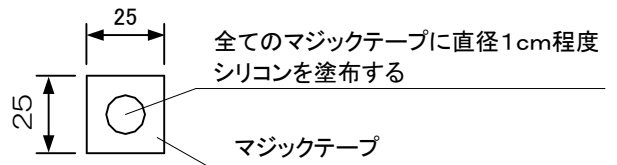
※前板固定金具は機種および間口によって取付個数が異なります。

5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

・ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

・コーナーキャビネットに取付けてあるFIX扉はマジックテープのみで取付けてあります。設置終了後、FIX扉の脱着が不要になった時点で、マジックテープ部にシリコンを塗布してFIX扉の固定を確実に行ってください。



【2. 清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

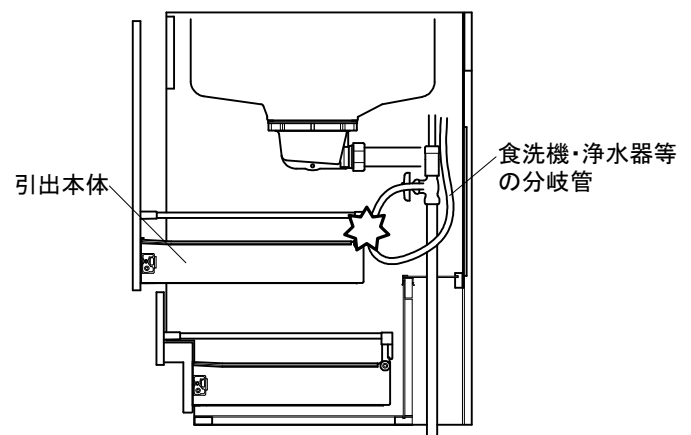
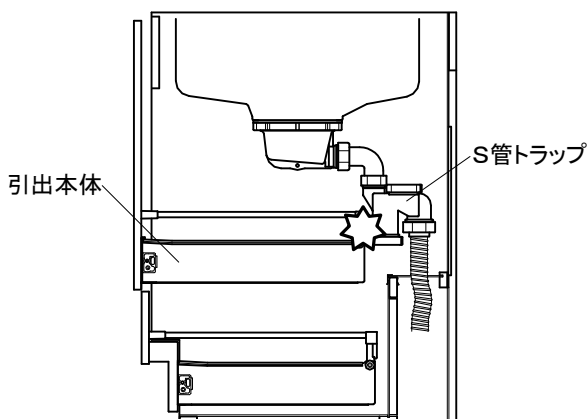
扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

③配管部と引出本体の干渉の確認(スライドタイプ・足元スライドタイプの場合)

S管トラップおよび、食洗機・浄水器等の分岐管と引出本体が接触していないか確認してください。もし干渉している時は、配管の位置を調整して引出本体と接触しないようにしてください。



【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要場合がありますので、取扱説明書と同様に保管ください。

【3. 梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

モクセイSKセッチセツ(9)9K-1



12615663